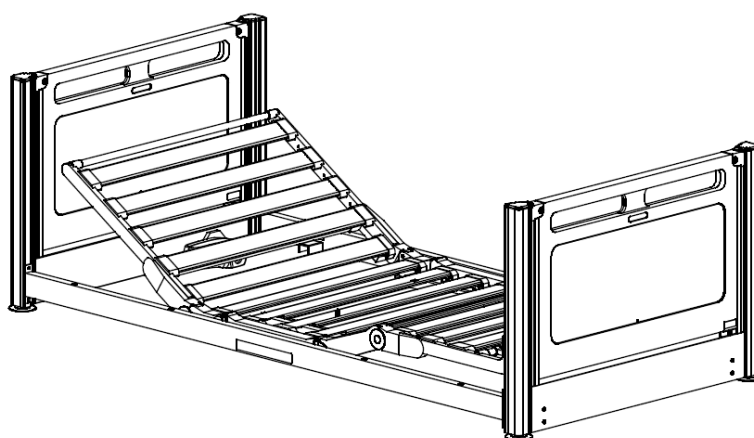


取扱説明書

852652-8900

フロアーベッド

FLB-04R
FLB-04R-2
FLB-04R-2S



まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書には、製品を安全に使用していただくための、注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるよう、所定の場所に保管してください。

ベッド本体以外の取扱商品について

- ベッド本体以外のベッド用グリップなど、オプション品については、オプション品に同梱されている取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるよう、ベッド本体の取扱説明書と一緒に、所定の場所に保管してください。

	ページ
1. 安全のために必ずお守りください	2
2. 各部の名称	8
3. 部品の確認	9
4. ベッドの設置	11
5. ベッドの組立手順	12
6. 設置後のベッドの移動方法	24
7. 使用方法	24
8. リフトの利用について	32
9. サイドレールとベッド用グリップについて	33
10. ベッドフレームの分解方法	54
11. 仕様	56
12. お手入れ方法	58
13. 点検	59
14. 消耗部品	61
15. 耐用期間	61
16. こんなときには	62
17. 停電により停止したときに	64
18. アフターサービスについて	66
19. 保証書	67






1. 安全のために必ずお守りください

絵表示について




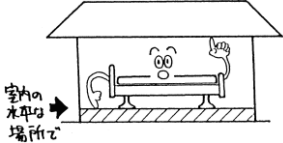

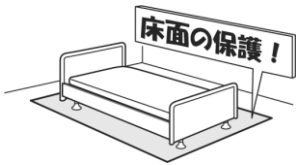

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の絵表示をしています。

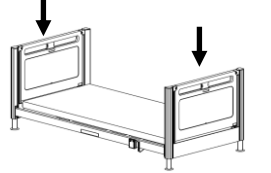

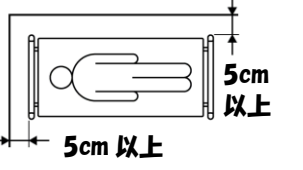

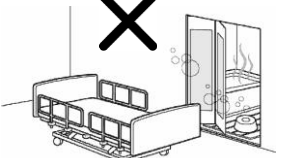

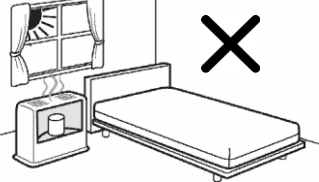




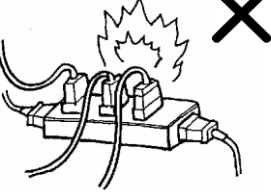

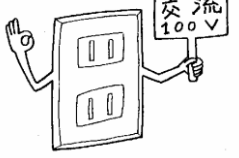



その指示と内容は、次のようになっています。

内容をよく理解してから本文を読んでください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (～しないでください)
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 (～してください)
	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。

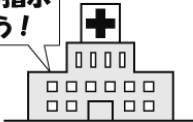
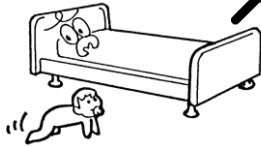


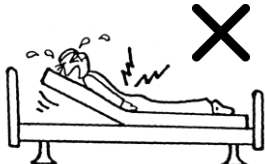
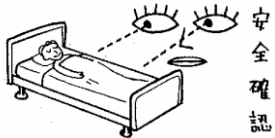
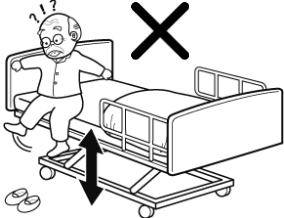
設置する時



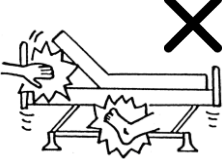















 注意	
ベッドの組み立て、分解は必ず弊社サービスマン、または販売店におまかせください。 ご自身で組み立て、分解すると重大な事故の原因となります。	
部屋の中でコンセントの位置、家具の引出し、扉などの開閉などに支障がないことを確認してください。 ベッドを組み立ててからの移動は困難になります。	
ベッドは、突起物のない水平な場所で、室内の環境で使用してください。 平坦な場所以外、屋外、風呂場などで使用するとガタツキ、変形、故障、事故の原因となります。	 
ベッドの重量に十分耐えられる床の強度を確保してください。また、床の材質によっては、ベッドフレーム設置面が傷つくことがありますので、極力カーペット類を使用して、床面の保護を行ってください。	 

<p>ヘッドボード、フットボードは確実に下まで差し込んでください。</p> <p>思わぬ時に動いてケガをする恐れがあります。</p>		
<p>ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にモノを置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベッドの頭側／脚側（長手方向）： 5 cm 以上 ● ベッドの両側（サイド）： 5 cm 以上 <p>ベッドの動きにより周囲のモノを破損したり、事故や故障の原因となります。</p>		
<p>高温、多湿な場所は避けてください。</p> <p>反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。</p>		
<p>直射日光やエアコンからの風が直接当たる場所は避けてください。また、ストーブなどの熱器具、および火種になるモノはベッドの近くに置かないでください。</p> <p>変形、変色、劣化、火災の原因になります。</p>		
<p>必ずベッドの仕様に合った、弊社製のサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを使用してください。本取扱説明書に記載されている適合するサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを確認してください。</p>		
<p>電源コードの上に重いモノを載せたり、コードがベッドの下敷きにならないようにしてください。</p> <p>コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。</p>		
<p>電源プラグは直接コンセントに差し込み、コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続（たこ足配線）しないでください。</p> <p>火災の原因になります。</p>		
<p>AC100V、50／60Hz 以外の電源で使用しないでください。</p> <p>火災、感電の原因となります。</p>		
<p>ベッド設置場所の上部に落下物を置かないでください。</p> <p>地震時などに落下物でケガをする原因になります。</p>		

使用する時

警告

<div>⚠ 警告</div>		
<p>症状によっては、ベッド操作（背上げ、脚上げ、上下昇降）をすることにより、症状を悪化させる可能性があります。使用に際しては、医師の指示に従ってください。</p> <p>事故の原因となります。</p>	<div><div>医師の指示 に従う！</div></div>	<div>⚠</div>
<p>子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。</p> <p>子供が操作することが想定される場合は手元スイッチ裏側の安全スイッチ、タクトスイッチの昇降安全スイッチを「OFF」にしてください。</p> <p>思わぬ事故の原因となります。</p>	<div><div></div><div><div><div>OFF</div><div></div><div>ON</div></div><div>安全スイッチ</div></div><div><div></div><div>昇降安全スイッチ</div></div><div><div><div>ON</div><div>OFF</div></div></div></div>	<div>⚠</div>
<p>背上げ操作は、寝ている人の頭がベッドの背上げ側にくるようにして、仰向けに寝た状態で行ってください。</p> <p>これ以外の姿勢では、寝ている人の身体に無理がかかります。</p>	<div></div>	<div>⚠</div>
<p>手元スイッチでベッドの操作をする時には、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やモノの安全を確認するとともに、足元などにも注意しながら行ってください。</p> <p>また、なんらかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止してください。とくにサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。</p> <p>人がケガをしたり、モノが破損するなど、事故の原因となります。</p>	<div></div>	<div>⚠</div>
<p>移乗させる際はベッドの高さを適切な高さに調整して使用してください。</p> <p>思わぬケガをする恐れがあります。</p>		<div>⚠</div>
<p>ベッドの高さは適切な高さに調整して使用してください。端座位姿勢のとれる高さ、もしくは低めの位置での使用をおすすめします。</p> <p>ベッドの高さが合っていないと、乗り降りの際に転倒する恐れがあります。</p>	<div></div>	<div>⚠</div>
<p>手元スイッチのボタン操作が確実にできない人、または身体の状態などの変化により、ボタン操作が確実にできなくなると思われる人には、操作をさせないでください。</p> <p>誤った操作による事故の原因となります。</p>		<div>⊘</div>

<p>このベッドは大人用です。12 歳以下の子供、新生児、幼児などは使用しないでください。</p> <p>また取扱説明書、各注意ラベルの内容が理解できない人には使用させないでください。</p> <p>思わぬ事故の原因となります。</p>		
<p>ベッドの下や、起き上がったボトムとフレームの間に身体を入れないでください。</p> <p>挟まれてケガをする恐れがあります。</p>		
<p>サイドレールやヘッドボード、フットボードに腰掛けるなど、必要以上の荷重を加えないでください。</p> <p>破損したり、ケガをする恐れがあります。</p>		
<p>ベッドの上で飛び跳ねたり、背上げ状態で立ったり、腰掛けたりしないでください。</p> <p>破損したり、ケガをする恐れがあります。</p>		
<p>本製品は 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。</p> <p>重大な事故の原因となります。</p>		
<p>モーターの定格時間は 2 分です。それ以上は連続して使用しないでください。次に使用する時は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。</p> <p>故障の原因となります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップのすき間にコード類を入れないでください。</p> <p>背上げなどベッドの操作をするときに、コード類を挟み、事故や破損の原因となります。</p>		
<p>使用荷重は最大 1700N（約 170kg）です（使用者の最大体重は約 135kg です）。体重とマットレスと付属品を含めた荷重が 1700N を超えるときは、使わないでください。</p> <p>ベッドの破損や重大な事故の原因となります。</p>	<p>1700N 以下</p> 	
<p>ベッドおよびサイドレール、ベッド用グリップは、破損した状態で使用しないでください。</p> <p>重大な事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。</p> <p>重大な事故の原因となります。</p>		

使用する時

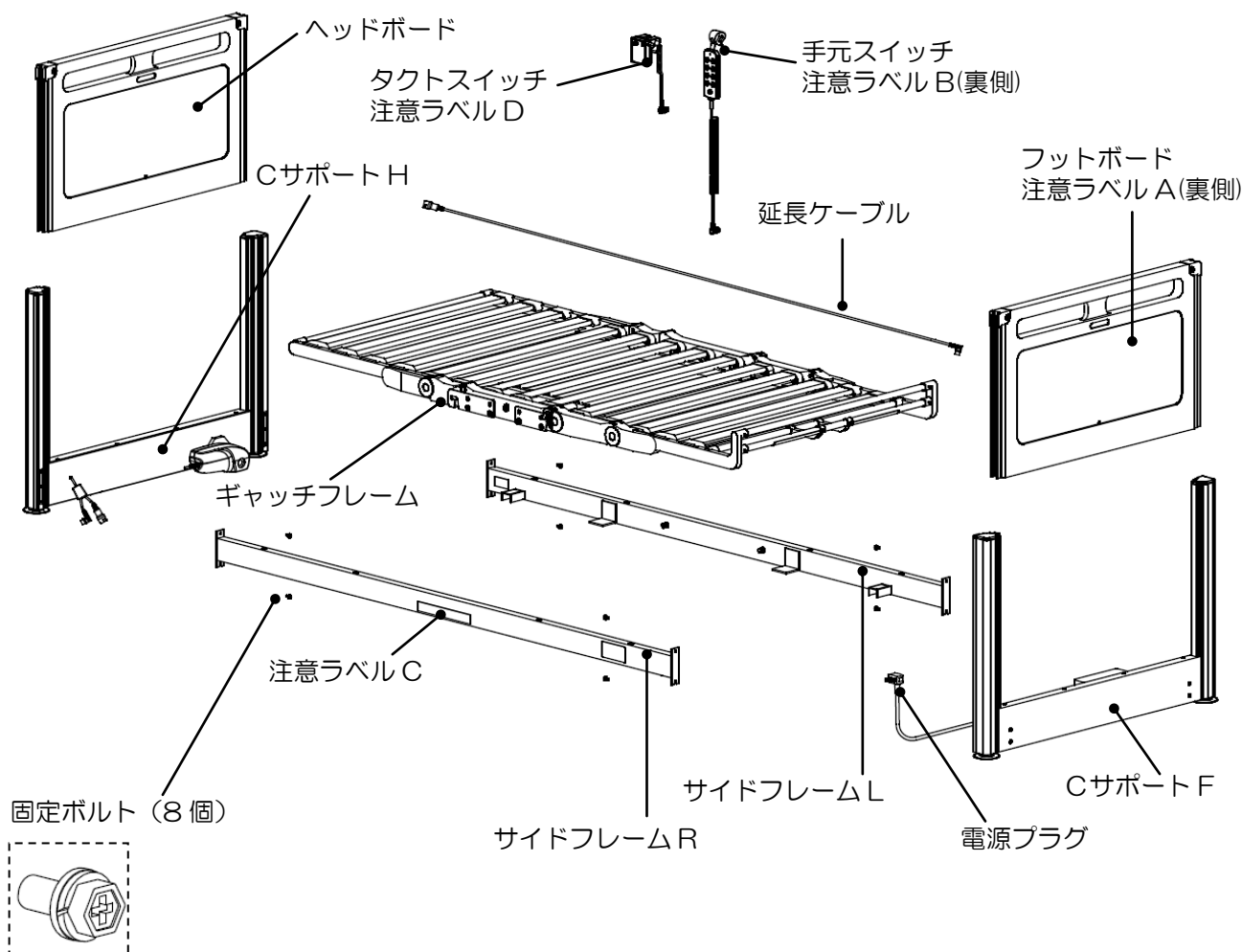
⚠ 注意

<p>動作しないなど異常の時は、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の「こんなときには」の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。</p>	
<p>電動操作を長期間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。</p>	 
<p>電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。 コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。</p>	 
<p>ベッドの周辺を定期的に整理、整頓してください。 ベッドの周辺が乱れていると思わぬケガの原因となります。</p>	 
<p>電源コードが傷んだり（芯線の露出、断線など）、動かないなど、異常の時は電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>	 
<p>手元スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて1つずつ押してください。 複数のボタンを同時に押したり、不必要なボタンを押すと思わぬ動きをし、乗っている人や周囲の人がケガをする恐れがあります。</p>	
<p>手元スイッチを使用しないときは、ヘッドボードの外側やサイドレールやベッド用グリップの外側にかけてください。 ベッドの上やヘッドボード、サイドレールやベッド用グリップの内側などは無意識に触れて誤動作する恐れがあります。</p>	 
<p>上下昇降操作を禁止する場合はタクトスイッチの昇降安全スイッチを「OFF」にしてください。 無意識にボタンに触れて誤動作する恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。</p>	 
<p>リフトを使用する際は、ベッドの高さをタクトスイッチを使用する24cm～11cmの範囲内にはしないでください。 タクトスイッチを操作してベッドを下げると床面とベッドのすき間がほとんどなくなります。リフトを挟んでケガやベッドの故障の原因となります。</p>	 

<p>ベッドの高さを床まで下げるときは、再度ベッドの下にモノや体の一部がないことを確認してから操作してください。 ケガや故障の原因となります。</p>		
<p>頭側もしくは脚側から介助する場合は、必ずヘッドボード、フットボードを取り外してから行ってください。 ヘッドボード、フットボードに負荷がかかり、ベッドが破損する恐れがあります。 ヘッドボード、フットボードの取り外し方法については、後述する「7-6. ヘッドボード、フットボードの脱着」の項目を参照してください。</p>		
<p>ベッドの上で、喫煙をしないでください。 破損、火災の原因になることがあります。</p>		
<p>濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電する恐れがあります。</p>		
<p>電源や手元スイッチのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、巻きつけたり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災、感電の原因となります。</p>		
<p>モーターや手元スイッチ、その他の電気部品に水やジュースなどの液体をこぼさないでください。 故障や事故の原因となります。</p>		
<p>ヘッドボードやフットボードを持ってベッドを無理に引きずらないでください。 フレームがゆがんでベッドの故障の原因となります。</p>		
<p>手元スイッチのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないでください。 ボタンが破損するなど故障の原因となります。</p>		
<p>手元スイッチを落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 故障の原因となります。</p>		
<p>ヘッドボードユニット、フットボードユニットの脚部の支柱にはグリスが塗布されています。脚部の支柱に直接触れないようにしてください。 手や衣服などが汚れる恐れがあります。</p>		

2. 各部の名称

- ベッドには、図のように注意ラベルがあります。使用前に位置と内容を確認してください。



- 注意事項の中で特に注意していただきたい項目を表示してあります。
- はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

注意ラベル A

⚠ 警告

- 頭、腕及び足をサイドレールから出したまま背上げ、脚上げ操作をしないで下さい。
- 各部を操作する時はフレームに身体、手足、指を挟まないように注意して下さい。
- サイドレール及びベッド用グリップは、必ず取扱説明書に記載のものを使用して下さい。
- 背上げや脚上げ状態で、背部や脚部に立ったり腰掛けたりしないで下さい。
- このベッドは一人用です。二人以上でお使いにならないで下さい。
- 安全使用荷重は約1700N（約170kg）です（使用者は約135kg）。それを超える荷重で使用しないで下さい。
- 幼児や取扱説明書、警告ラベルの内容が理解できない人には操作をさせないで下さい。
- 分解、改造はしないで下さい。

注意ラベル B

⚠ 警告

- 操作をする前に、ベッドの下部や周囲の安全を確認してください。
- 操作を禁止する場合や操作しない場合は、安全スイッチの **OFF** を合わせてください。
- ランプが点滅した際は、取扱説明書をご参照ください。

注意ラベル D

⚠ 警告

ON 昇降安全スイッチ OFF 下降用ボタン

- 操作をする前に、ベッドの下部や周囲にモノや体の一部が無いことを確認してください。
- 昇降動作のみ禁止する場合（手元スイッチでの動作も含む）は昇降安全スイッチのつまみを **OFF** へ合わせてください。

フランスベッド

注意ラベル C

⚠ 注意

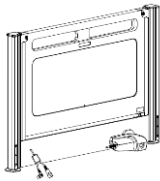
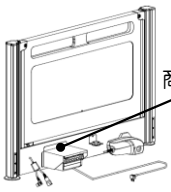
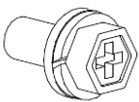
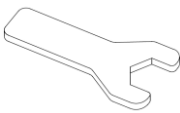



ベッドの高さを下げる時はモノや体の一部がベッドの下にない事を確認してから操作してください。

ケガやベッドの故障の原因となります。



3. 部品の確認

- 梱包箱の中から部品を取り出した後、部品がそろっていること、破損がないことを確認してください。
- もし、足りないものや、破損している部品があった場合は、販売店に連絡してください。
- 最小のユニット単位で部品に商品ラベルが貼られています。商品ラベル名称を確認してください。
- 本製品の本体ならびに取扱説明書に記載しております組み合わせ（本体ならびにサイドレール、ベッド用グリップ）で使用してください。

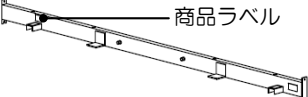
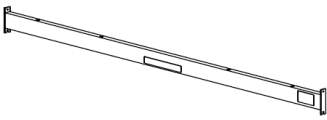
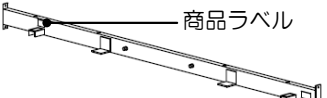
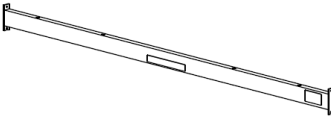
C サポート、ヘッドボード、フットボード（ハイローユニット）

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (mm) ／重量	対応サイズ	
						標準	ショート
1	C サポート H ヘッドボード (ヘッドボードユニット)	なし		1	1065×770× 315/41 (kg)	○	○
	C サポート F フットボード (フットボードユニット)	フロアーベッド FLB-O4R HB FB st		1		○	○
	固定ボルト	なし		8		○	○
	スパナ	なし		1		○	○
	延長ケーブル	なし		1		○	○
	コードクランプ	なし		1		○	○
	取扱説明書	なし		1		○	○

ギャッチフレーム

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (mm) ／重量	対応サイズ	
						標準	ショート
1	ギャッチフレーム	フローアベッド FLB-04R フレーム		1	2005×980× 195 ／29 (kg)	○	
1	ギャッチフレームS	フローアベッド FLB-04R-2S フレーム		1	1865×980× 195 ／28 (kg)		○


サイドフレーム

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (mm) ／重量	対応サイズ	
						標準	ショート
	サイドフレームR	フローアベッド FLB-03 SF		1	2080×140× 130 ／12 (kg)	○	
	サイドフレームL	なし		1			
1	サイドフレームRS	フローアベッド FLB-04R-2S SF		1	1940×140× 130 ／11 (kg)		○
	サイドフレームLS	なし		1			

手元スイッチ



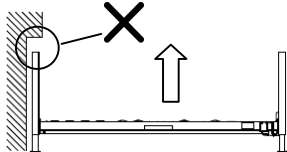


梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (mm) ／重量	対応サイズ	
						標準	ショート
1	手元スイッチ 3M	HRD-F3		1	320×110×110 ／1 (kg)	○	
1	手元スイッチ 2M	HRD-F2		1	320×110×110 ／1 (kg)	○	○

タクトスイッチ

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (mm) ／重量	対応サイズ	
						標準	ショート
1	タクトスイッチ	タクトスイッチ		1	320×110×110 ／1 (kg)	○	○

4. ベッドの設置

⚠ 注意

床の材質によっては、組み立て時に床面が傷つくことがありますので、ダンボール材や敷物などを敷いて床面の保護を行ってください。	
組み立ての際には、ケガなどに十分注意して作業を行ってください。	
壁に設置してある棚などの突起物のないところに設置してください。 ベッドの高さを上げる際、突起物にぶつかり、ケガや製品の故障の原因となります。	 
組み立ての際には、部品の上に乗らないでください。 部品の変形や破損の原因となります。	

- 組み立てを行う前に、「1. 安全のために必ずお守りください」、「2. 各部の名称」、「3. 部品の確認」をよく読んでください。
- ベッドへの乗り降りやベッドからの移動、また壁やコンセントの位置を考え、あらかじめベッドの頭側、脚側の方向および配置を決めておきます。

5. ベッドの組立手順

(ベッドを組み立てる前にご確認ください)

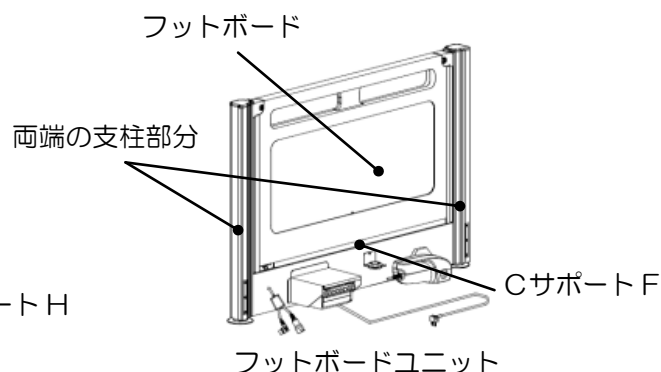
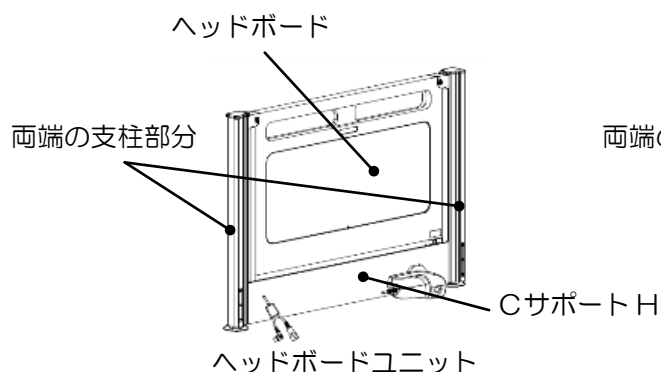
- 組み立ては必ず2名以上で行ってください。
- 使用できる電源コンセントの位置を確認します。組み立て作業には電源が必要です。
- 設置場所を確認します。電源コードは脚側にあるコントロールボックスから3.5mの長さがあります。窓枠、棚、電源プラグなどの突起物がないこと、床面が水平であることを確認してください。
- サイドフレームなど長い金属部品があるため床、壁、家具などの傷付けに注意してください。
- 組み立て工具の紛失に注意してください。

5-1. ヘッドボードユニットとフットボードユニットにサイドフレームを取り付ける

ベッドの組み立てはヘッドボードユニット、フットボードユニットの高さが一番低い状態で行ってください。

(ヘッドボードユニットとフットボードユニットの準備)

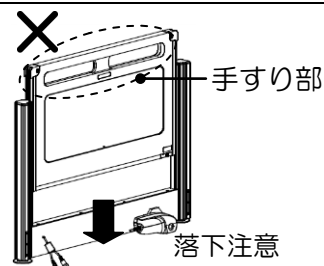
ヘッドボードユニットとフットボードユニットを箱から取り出します。ヘッドボードユニットは、CサポートHとヘッドボードの部品で構成されています。フットボードユニットは、CサポートFとフットボードの部品で構成されています。



⚠ 注意

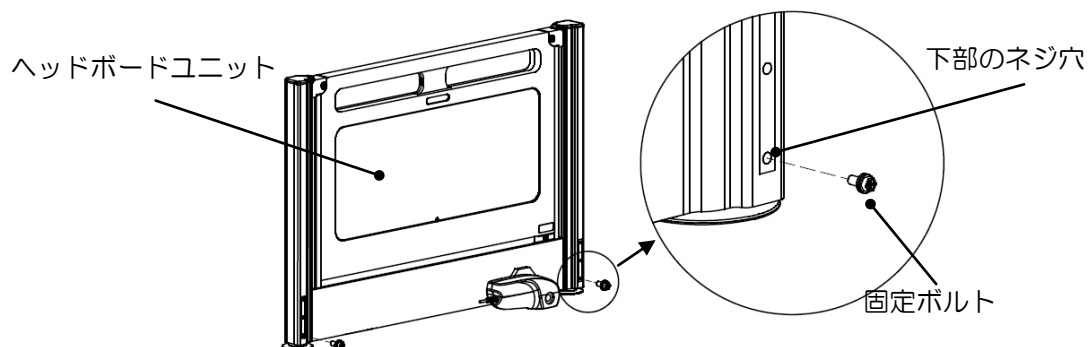
ヘッドボードユニット、フットボードユニットを持ち運ぶ時に、手すり部を持つとCサポートが抜け落ちる可能性があります。運ぶ時は必ず、両端の支柱部分(Cサポートの部分)を持つようにしてください。

ケガ、製品の故障の原因となります。



(ヘッドボードユニットとフットボードユニットへの固定ボルトの仮止め)

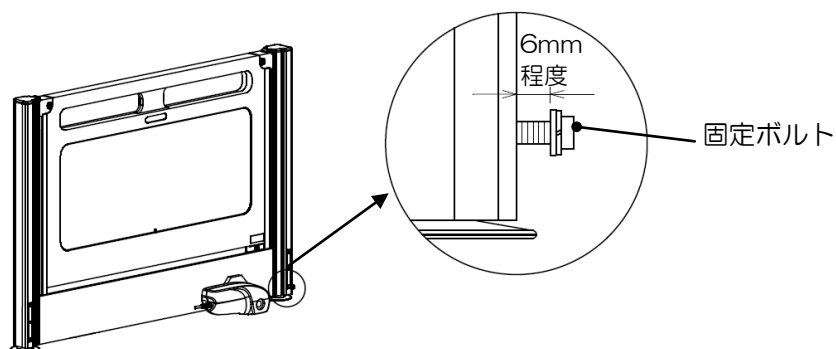
固定ボルトをヘッドボードユニットの下部のネジ穴 2 ヶ所に仮止めします。



同様の手順で、フットボードユニットの下部のネジ穴 2 ヶ所に仮止めします。

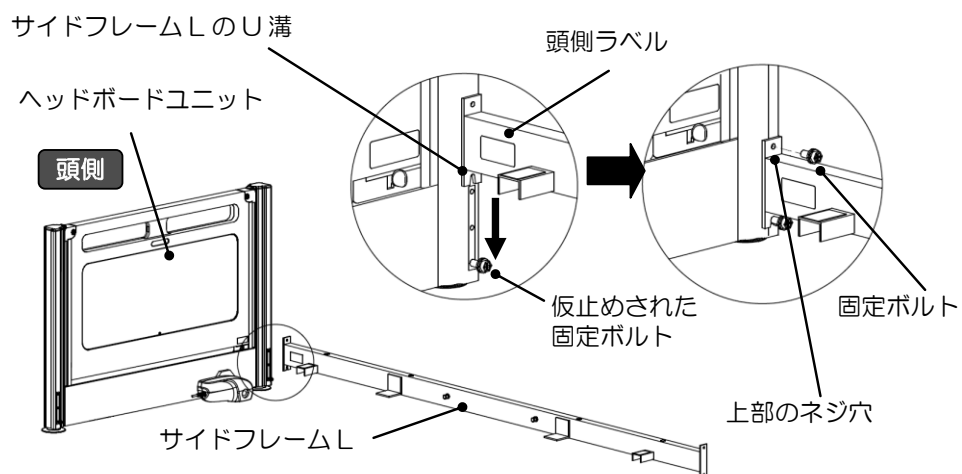
(固定ボルト仮止めのポイント)

固定ボルトを仮止めするときのコツとして、ワッシャとフレームの間を 6mm 程度のすき間を空けると、その後に取り付けるサイドフレームの U 溝が入りやすくなります。



(ヘッドボードユニットにサイドフレーム L とサイドフレーム R を取り付ける)

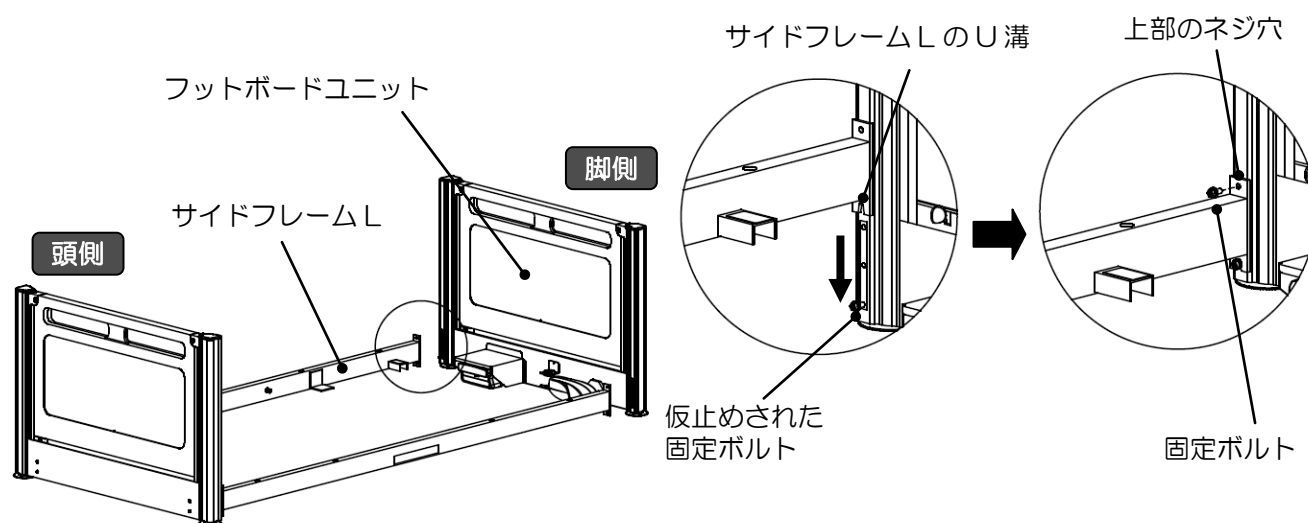
ヘッドボードユニットに仮止めされた固定ボルトの上に、サイドフレーム L の U 溝を乗せます。頭側ラベルが貼付されている側がヘッドボードユニット側となります。その後、固定ボルトをヘッドボードユニットの上部のネジ穴に仮止めします。



同様の手順で、ヘッドボードユニットにサイドフレーム R を取り付けます。

（フットボードユニットにサイドフレームLとサイドフレームRを取り付ける）

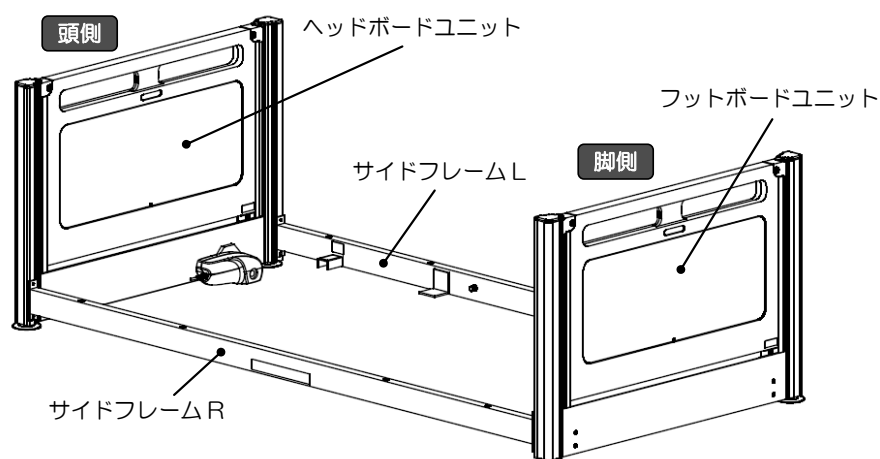
フットボードユニットに仮止めされた固定ボルトの上に、サイドフレームLのU溝を乗せます。その後、固定ボルトをフットボードユニットの上部のネジ穴に仮止めします。



同様の手順で、フットボードユニットにサイドフレームRを取り付けます。

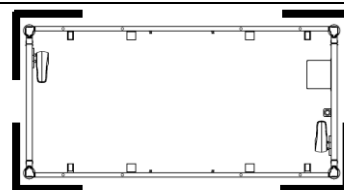
（仮止めの確認とフレームのゆがみの修正）

以上の手順で、ヘッドボードユニット、フットボードユニット、サイドフレームの仮止めが完了します。取り付け後は、下図のような形になります。このときフレーム全体にゆがみがないことを確認してください。ゆがみがある場合は、フレームのゆがみを直してください。



⚠ 注意

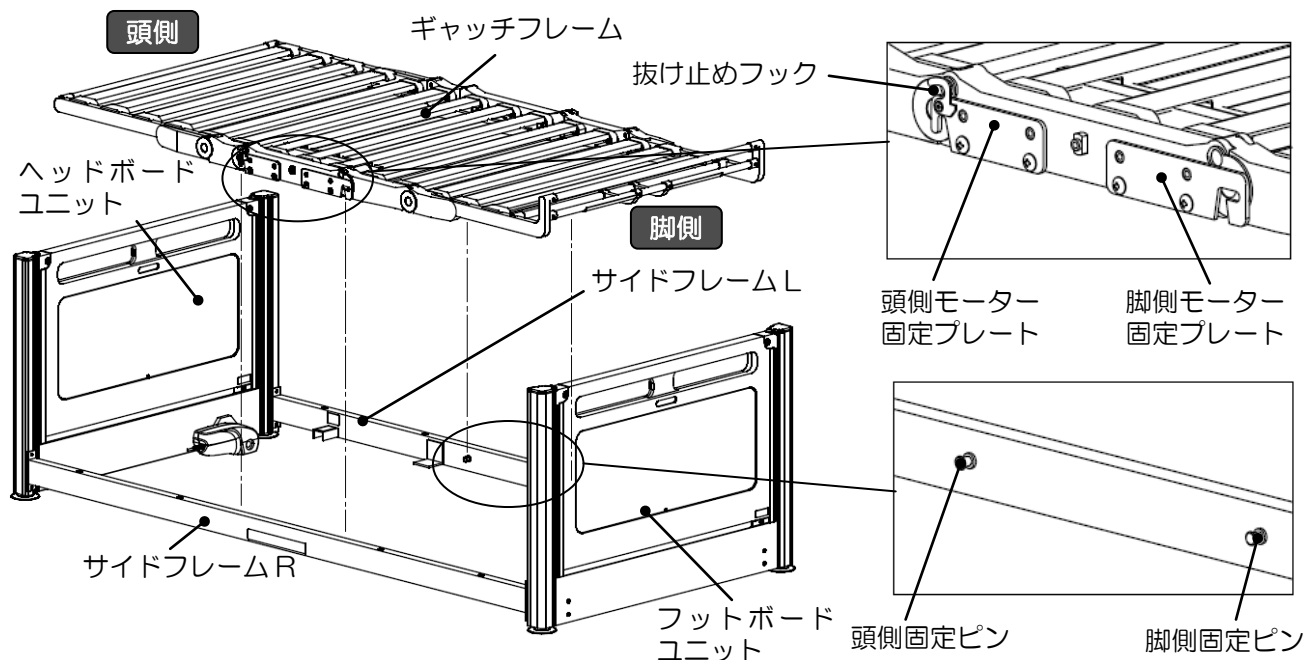
フレームにゆがみがある場合は、ヘッドボードユニット、フットボードユニットの両端の支柱部を持って、ゆがみを修正してください。



5-2. ギャッチフレームの取り付け

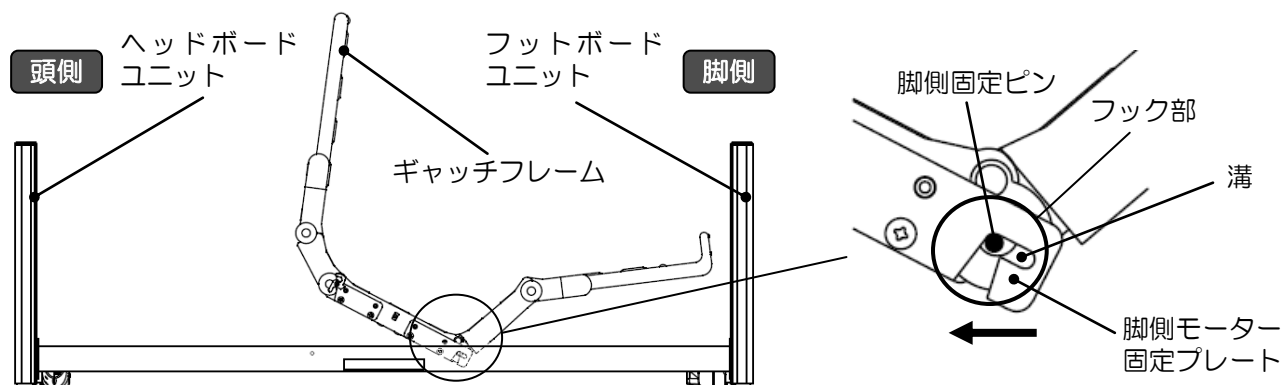
（ギャッチフレームをサイドフレームに取り付ける）

ギャッチフレームを頭側 1 名、脚側 1 名で持ち、ギャッチフレームの頭側をヘッドボードユニット側、ギャッチフレームの脚側をフットボードユニット側に向けて、サイドフレーム L とサイドフレーム R に取り付けます。



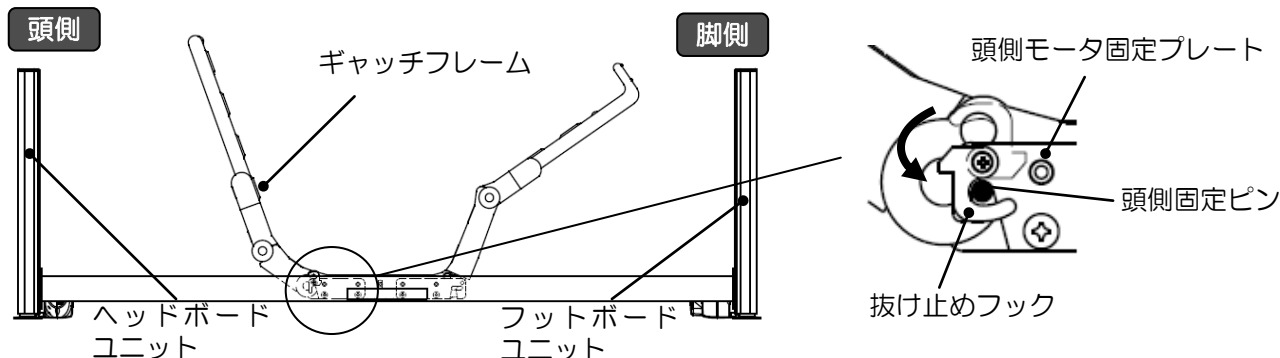
（脚側固定ピンに引っ掛けるときの）

脚側固定ピンに脚側モーター固定プレートのフック部を乗せて、溝に合わせて落とし込みます。サイドフレーム L 側、サイドフレーム R 側の両方を確実に落とし込めたらギャッチフレームをヘッドボードユニット側に引きよせます。



（頭側固定ピンに引っ掛けるとき）

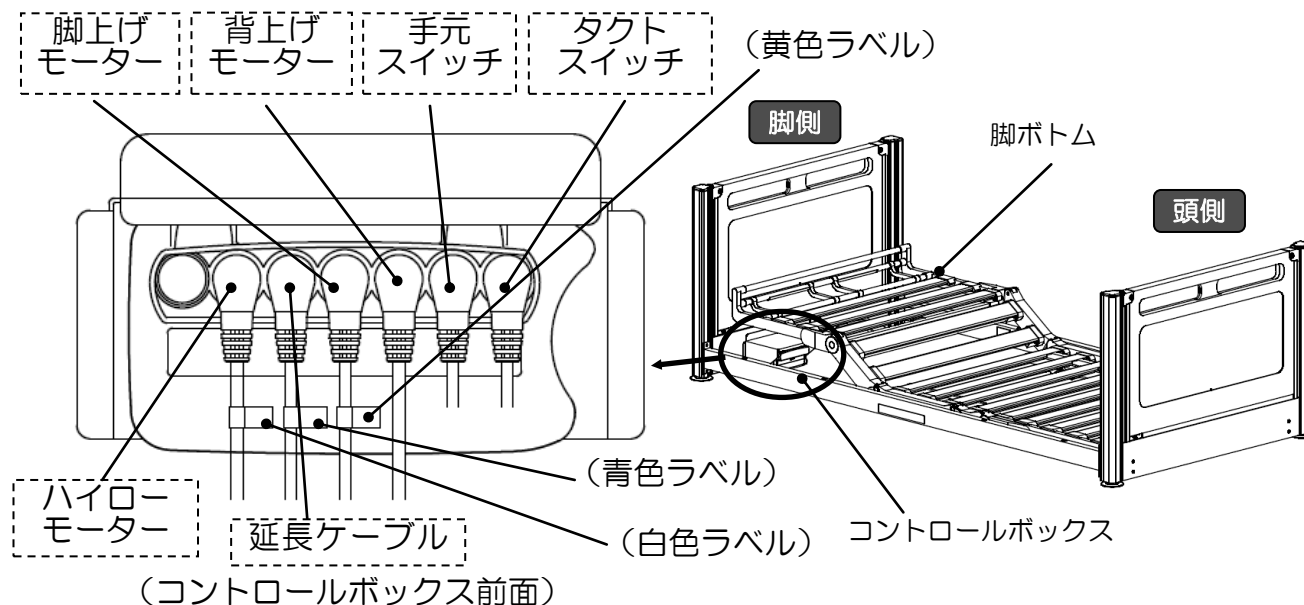
抜け止めフックを回転させて、頭側固定ピンに頭側モーター固定プレートを乗せます。次に抜け止めフックを回転させて頭側固定ピンに引っ掛けてください。この作業はサイドフレーム L 側、サイドフレーム R 側の両方で行います。



5-3. コントロールボックスへの接続及び配線

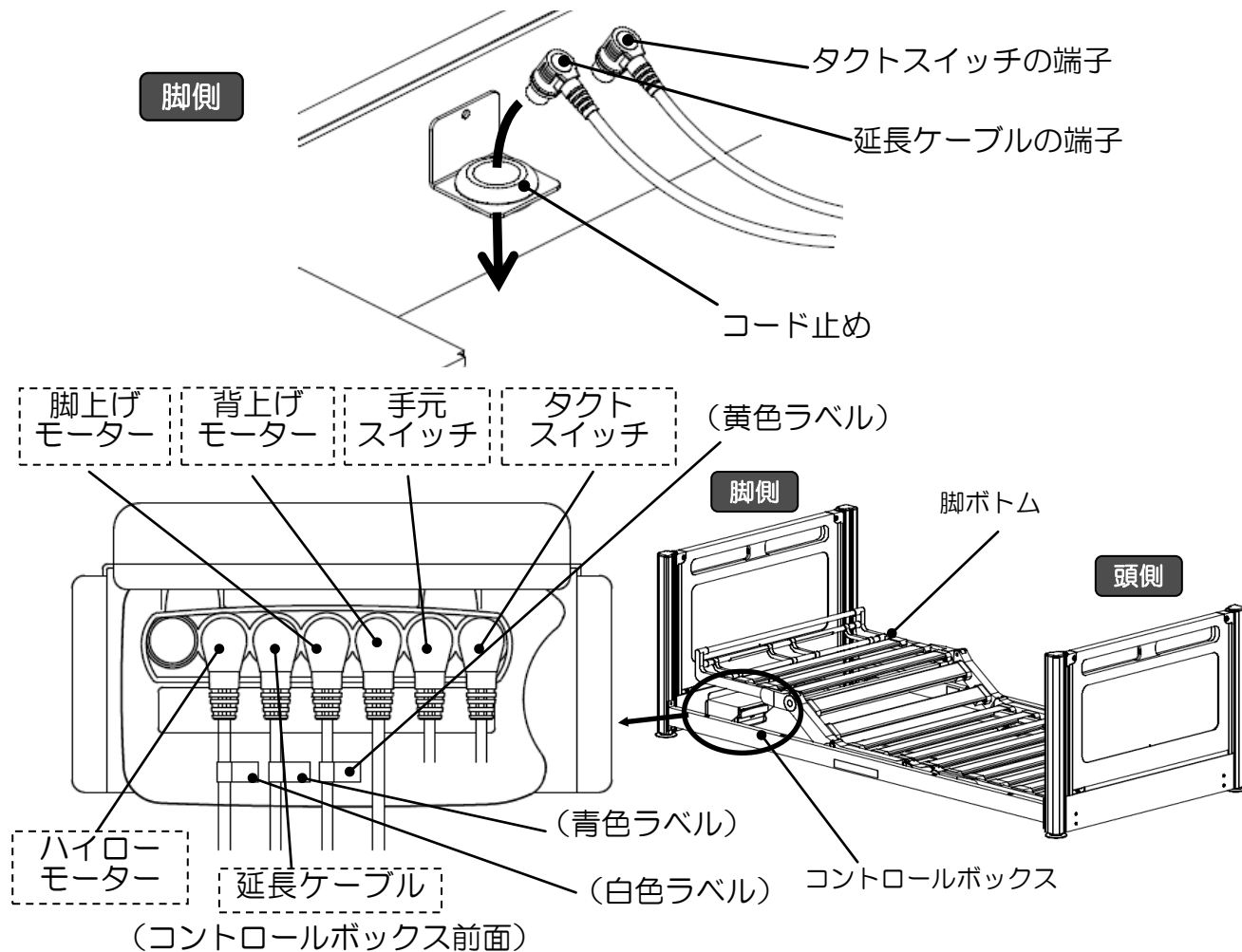
（標準サイズ コントロールボックスへの接続）

脚ボトムを持ち上げて、コントロールボックスに各ケーブルの端子を接続します。コントロールボックスの右から、タクトスイッチ、手元スイッチ、背上げモーター、脚上げモーター（黄色いラベルがついている端子）、延長ケーブル（青いラベルがついている端子）を差し込みます。



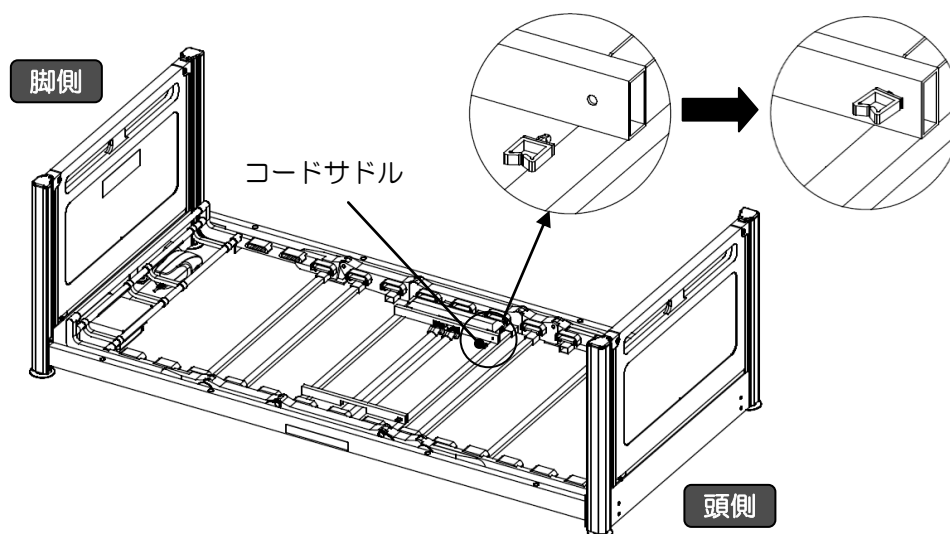
(ショートサイズ コントロールボックスへの接続)

脚ボトムを持ちあげて、コントロールボックスに各ケーブルの端子を接続します。タクトスイッチ及び延長ケーブルの端子をコード止めに上から通します。コントロールボックスの右から、タクトスイッチ、手元スイッチ、背上げモーター、脚上げモーター（黄色いラベルがついている端子）、延長ケーブル（青いラベルがついている端子）を差し込みます。



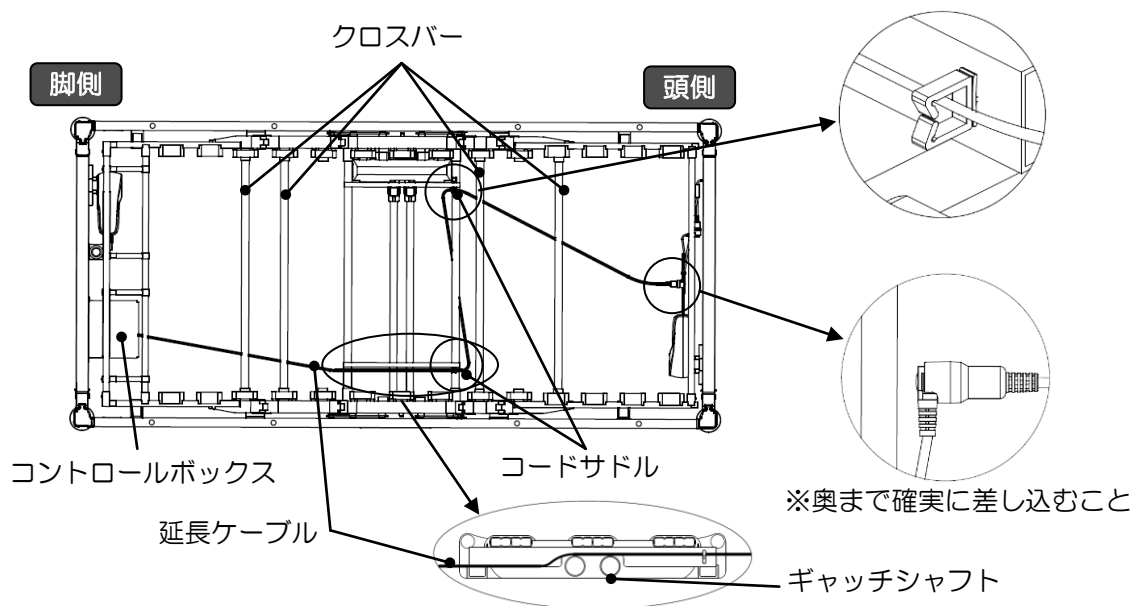
(延長ケーブル留め用コードサドルを取り付ける)

コードサドルを下記の図の位置に取り付けます。



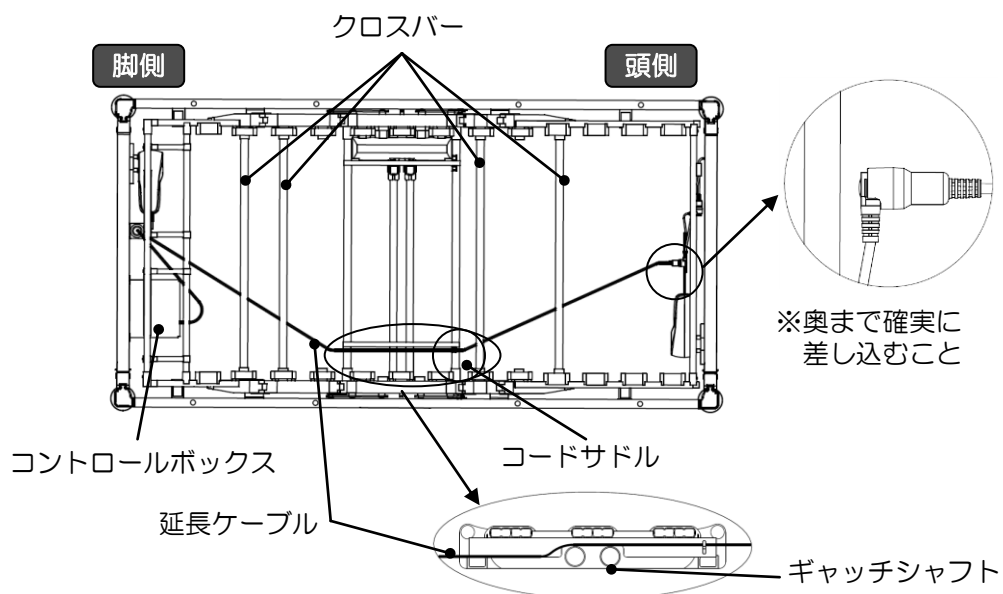
(延長ケーブルの配線 標準サイズ)

ギャッチユニットのコードサドルを2か所通して頭側まで延長コードを伸ばし、ヘッドボードユニットの端子に接続します。この時クロスバーの下側を通してください。(4 か所) 上側を通すと、背・脚上げを行った時、延長ケーブルが引っ張られ断線等の故障に繋がります。



(延長ケーブルの配線 ショートサイズ)

コードサドルを通して頭側まで延長コードを伸ばし、ヘッドボードユニットの端子に接続します。この時クロスバーの下側を通してください(4箇所)。上側を通すと、背上げを行った時に、延長ケーブルが引っ張られ断線等の故障に繋がります。

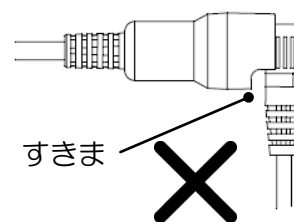


⚠ 注意

ヘッドボードユニットとハイローモーター、延長ケーブルの接続が緩いと、頭側と脚側の昇降スピードが異なりエラー（昇降時に「ピーピー」と警告音が鳴る）を起こす原因になります。確実に端子が接続していることを確認してください。

エラーが起きた時は、手元スイッチでリセットを行い端子が確実に接続していることを確認して下さい。

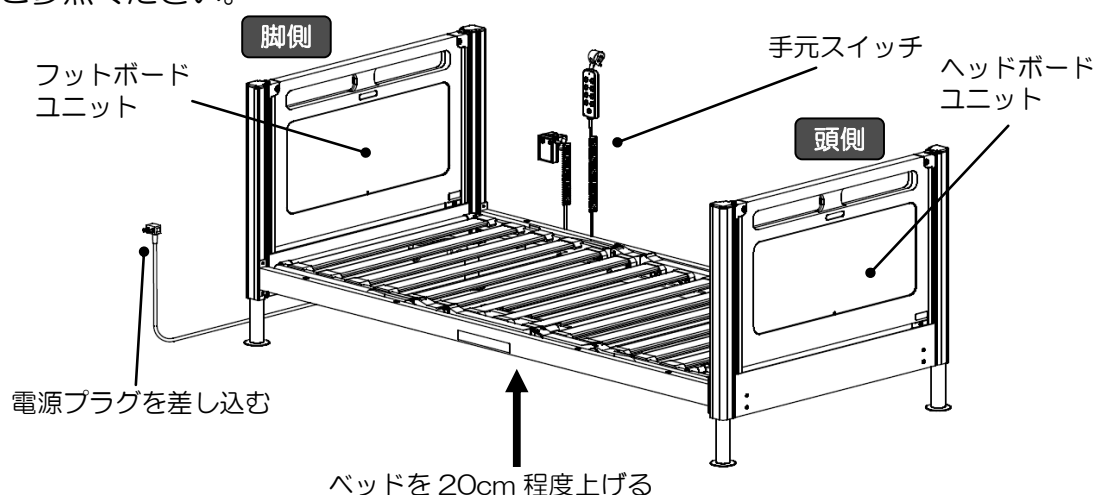
リセット方法については後述「7-2 手元スイッチの操作方法」をご参照ください。



5-4. 各部のネジを増し締めする

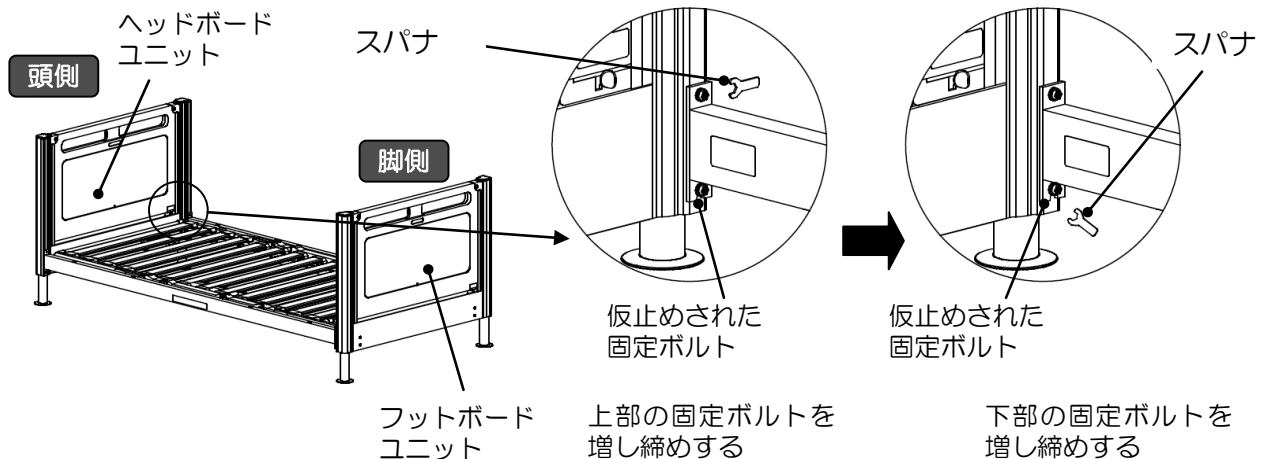
（各部のネジを増し締めするためベッドの高さを上げる）

電源プラグをコンセントに差し込みます。次に手元スイッチの入/切ボタン（□）を押し、昇降用動作用ボタン（たかさの「上」「下」ボタン）を同時に押してリセットを行ってください。そして、昇降用動作用ボタン（たかさの「上」ボタン）を押してベッドを 20cm 程度上げます。なお、手元スイッチの操作方法については、後述する「7-2. 手元スイッチの操作方法」をご参照ください。



(ヘッドボードユニット側の固定ボルトを増し締めする：合計 4 ヶ所)

ヘッドボードユニット側に移動します。ヘッドボードユニットに仮止めされた固定ボルトをスパナで増し締めします。上部の固定ボルトを増し締めした後、下部の固定ボルトを増し締めします。



同様の手順で、フットボードユニット側の固定ボルトを増し締めします。

付属のスパナ以外にプラスドライバーでも増し締め可能です。プラスドライバーで増し締めする場合は、増し締め後、付属のスパナで確実に締まっていることを確認してください。

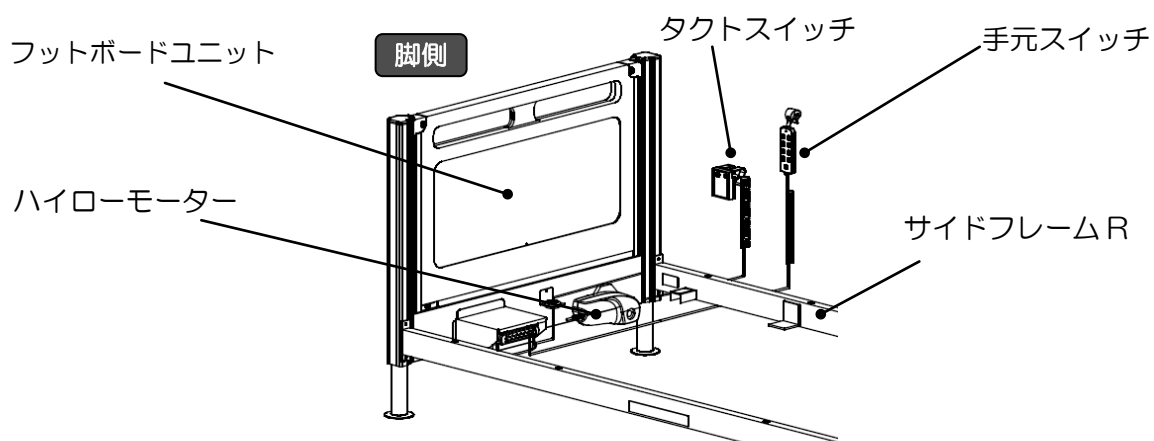
⚠ 注意	
ヘッドボードユニットの固定ボルト（合計 4 ヶ所）、フットボードユニットの固定ボルト（合計 4 ヶ所）が確実に締まっていることを確認してください。 固定ボルトがゆるんでいると、サイドフレームが外れるなどの思わぬ事故の原因となります。	

5-5. 手元スイッチとタクトスイッチのコード処理について

ベッドの高さを一番下まで下げる時、手元スイッチのコード、タクトスイッチのコードをコントロールボックスやモーターで挟み込まないようにするため、以下の処理を行います。

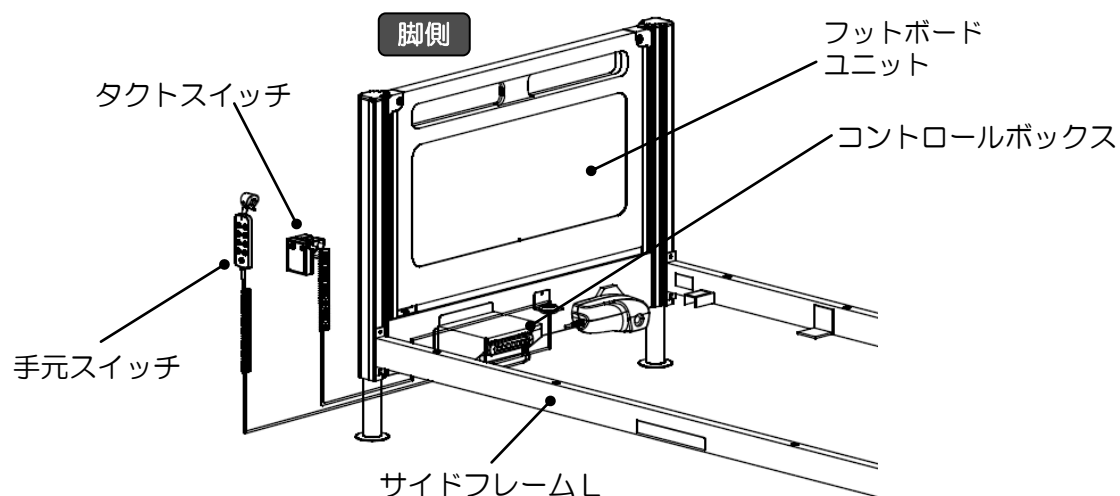
(サイドフレーム R 側からコードを処理する場合)

サイドフレーム R 側からコードを処理する場合は、手元スイッチのコードはサイドフレーム R の下側を通るようにしてください。タクトスイッチのコードはハイローモーターの上側を通り、サイドフレーム R の下側を通るようにしてください。



(サイドフレームL側からコードを処理する場合)

サイドフレームL側からコードを処理する場合は、タクトスイッチのコードはコントロールボックスの上側を通り、サイドフレームLの下側を通るようにしてください。手元スイッチのコードはサイドフレームLの下側を通るようにしてください。



⚠ 注意

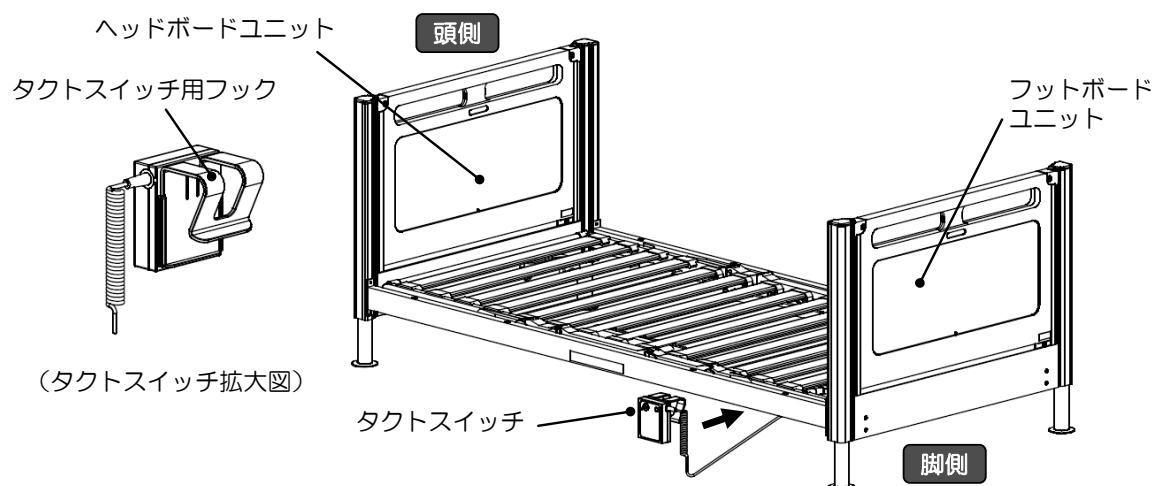
コード類はコントロールボックス下部、ハイローモーター下部に挟み込むことがないようにしてください。

コードの断線、製品の故障の恐れがあります。



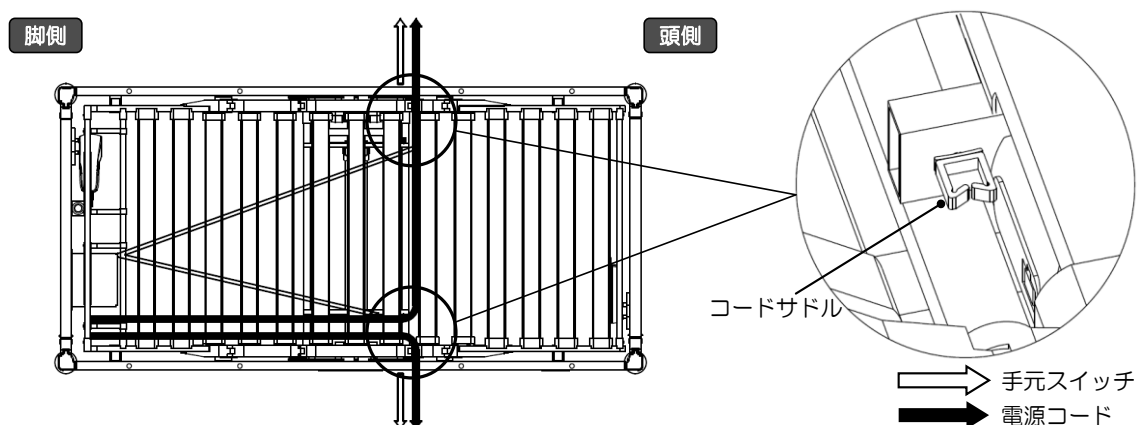
(タクトスイッチの固定)

タクトスイッチをベッドに取り付ける場合は、フックをサイドフレームに引っかけて固定します。



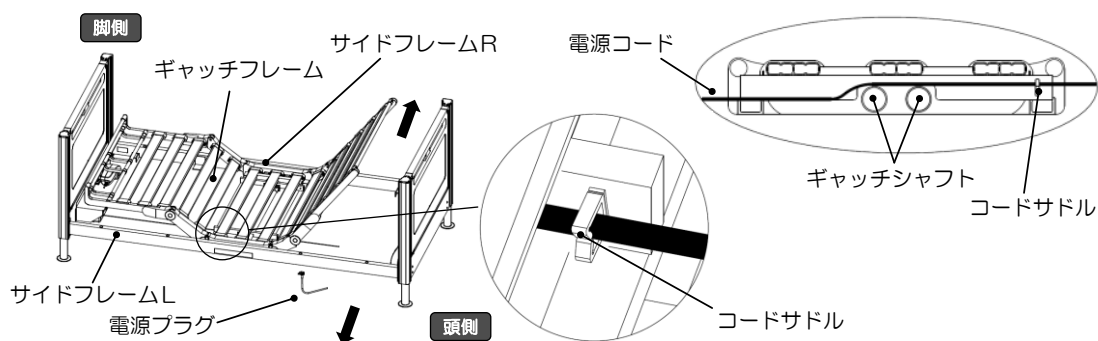
（電源コード、手元スイッチの配線）

手元スイッチのコード、電源コードをギャッチフレームに取り付けてあるコードサドルを使用することで、下記のイラストの矢印の方向から出すことができます。



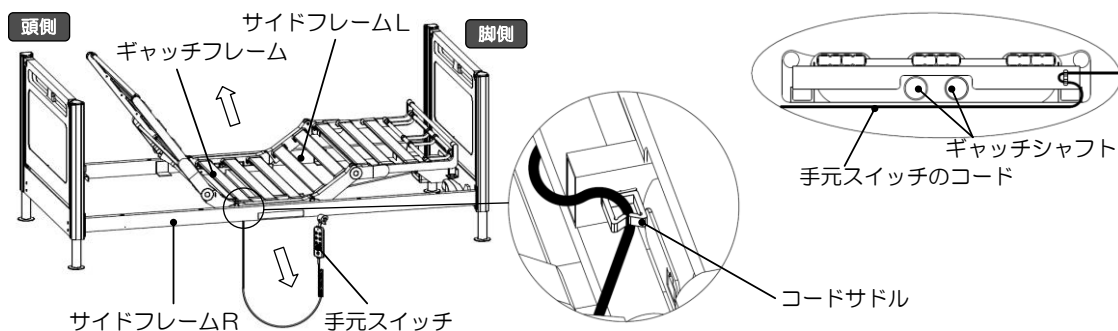
電源コードの配線方法

サイドフレームL側のコードサドルを使用します。コントロールボックスから伸びている電源コードを、ギャッチシャフトの上側から通し、コードサドルに引っかけることで電源プラグをサイドフレームR側またはL側の下から出すことができます。



手元スイッチコードの配線方法

サイドフレームR側、L側どちらかのコードサドルを使用します。コントロールボックスから伸びている手元スイッチのコードを、ギャッチシャフトの下側から一度コードサドルへ引っかけることでサイドフレームの下側から出すことができます。

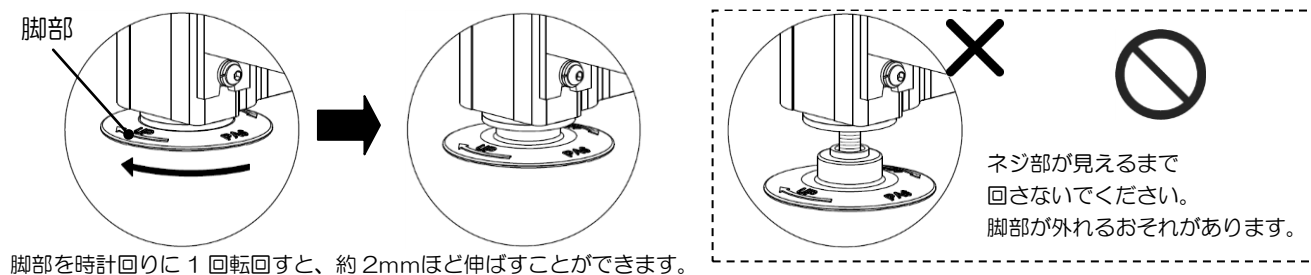


5-8. ベッド組み立て後の確認項目

ベッド組み立て後は下記の項目の確認を行ってください。

- ヘッドボード、フットボードの高さが均等であることの確認。
- サイドフレームを固定しているボタンボルト（頭側 4 ヶ所、脚側 4 ヶ所）が確実に固定されていることの確認。
- コントロールボックスに接続した端子にゆるみがないことの確認。
- ヘッドボードユニットと延長ケーブルを接続した端子が確実に接続されていることの確認。
- 手元スイッチによってベッドが正しく動作することの確認。
（手元スイッチの操作方法については、7-2. 手元スイッチの操作方法 ご参照）
- タクトスイッチによってベッドが正しく動作することの確認。
（タクトスイッチの操作方法については、7-3. タクトスイッチの操作方法 ご参照）
- ベッド動作時に異音の発生がないことの確認。
- コード類の挟み込みがないことの確認。
- ベッドが水平になっていることの確認。

水平でない場合は、下記の方法で脚部を調節することができます。



6. 設置後のベッドの移動方法

ベッドを設置した後に移動する際には、一度ベッドを分解し、再度組み立てを行ってください。若干の配置調整を行う場合には以下の点に注意してください。

ベッドの配置調整を行う場合

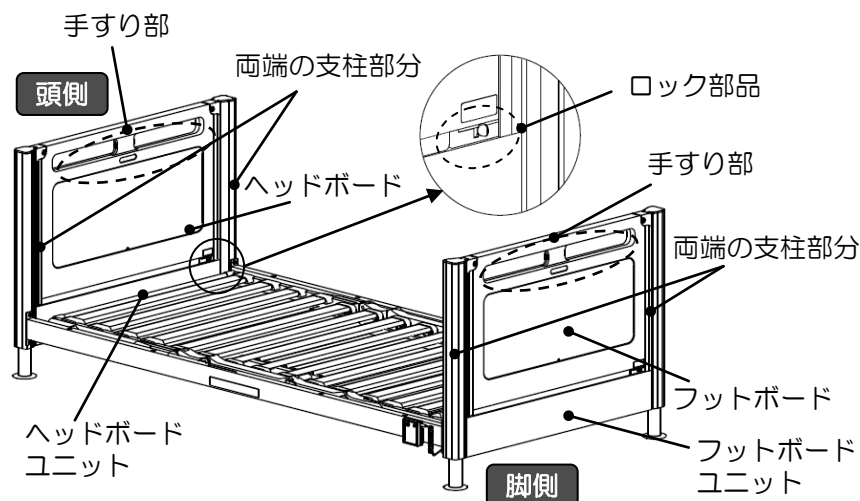
⚠ 注意

作業は必ず2名以上で行ってください。

1名で作業を行うと、思わぬ事故になる可能性があります。

ベッド移動時は、ヘッドボードユニットおよびフットボードユニットの両端の支柱部分を持つようにしてください。

ヘッドボード、フットボードの手すり部を持って運ぶと、「ロック部品」が破損し、ベッドフレーム自体が落下する恐れがあります。



ベッドをひきずらないでください。

床に傷が付くなどの事故の原因となります。

ベッドを傾けたり、横に倒して移動しないでください。

ベッドフレームのゆがみの原因となります。

7. 使用方法

7-1. ベッド使用前の準備

初めてベッドを使用する時は、以下の準備を行ってください。

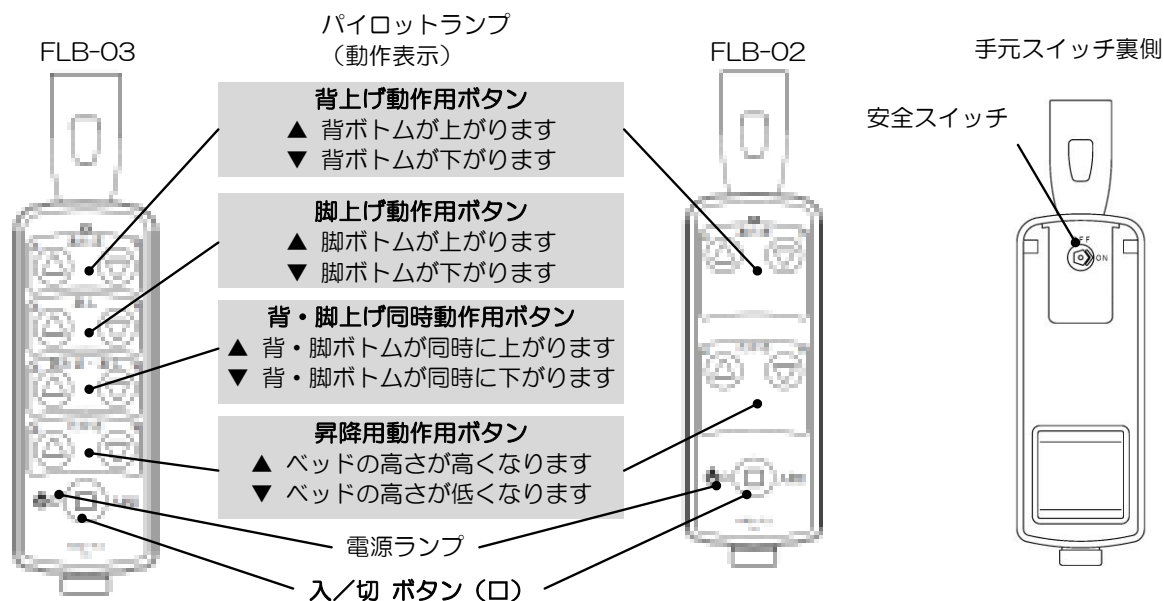
- 周囲に障害物のない事を確認します。電源コードに十分余裕をもたせ、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。
- ベッドを一番高くしたときに、コード類がひっかかっていないか、十分な余裕があることを確認してください。

⚠ 注意

操作をする前にベッドの下や周囲にぶつかったり、挟まったりしそうな人やモノがないことを確認してください。	!
手元スイッチのボタンは、必要な動きに合わせて1つずつ押してください。	!
モーターの定格時間は2分です。それ以上は連続して使用しないでください。安全装置が働き動作しなくなります。動作しない場合は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。	!

7-2. 手元スイッチの操作方法

- 手元スイッチの「入/切ボタン（□）」を押すと電源ランプが緑色に点灯して、ベッド操作ができるようになります。もう一度「入/切ボタン（□）」を押すと電源ランプが消灯して、ベッドの操作ができなくなります（この時に動作用ボタンを押すと電源ランプは赤く点灯しますがベッドは動作しません）。
- ベッドを操作するときは、手元スイッチの動作用ボタンを1つ押してください。動作用ボタンを押している間、パイロットランプが点灯し、ベッドが動きます。操作が終わったら「入/切ボタン（□）」を押し、安全のため、操作出来ないようにしてください。
- 各ボタンは、部屋が暗くなってもしばらくのあいだ発光し、ボタンの位置を確認することができます。



※手元スイッチで下げられるベッドの高さは24cmまでです。それより低くベッドを下げる場合は、ベッドの下や周囲の安全を確認した上で、タクトスイッチを操作して下げてください。

● 入/切（□）ボタンについて

この手元スイッチには、より安全性を高めるために「入/切ボタン（□）」が搭載されています。間違って動作用ボタンを押してしまったときに、ベッドが動き出すことを防止します。ベッド操作後、最後のボタン操作から約38秒後に自動的に「切」状態になります。より安全を高めるために操作が終わった時点で「入/切ボタン（□）」を押し「切」状態にしてください。

万が一操作ボタンから手を離してもベッド動作が止まらない時などには、「入/切ボタン（□）」を押すことで停止させることができます。

⚠ 注意

「入/切ボタン (□)」を押さないと、ベッド操作はできません。操作の前に必ず「入/切ボタン (□)」を押し、電源ランプを緑色に点灯させてから操作してください。また、最後のボタン操作から約 38 秒後に電源ランプが消灯し、「切」状態になります。



● リセット方法について

この手元スイッチには、頭側と脚側の高さを合わせられるように「リセット」ができるようになっています。ベッド組み立ての初動時やベッド組立時に昇降エラー（昇降時に「ピーピー」と警告音が鳴る）が発生したときに使用します。昇降用動作用ボタンを 2 つ同時に長押しすると、ベッドがゆっくりと最下点まで下降し「ピーピー」と音がしたらリセット完了です。最後に手元スイッチとタクトスイッチを使用しベッドが正常に動作することを確認してから使用してください。

⚠ 注意

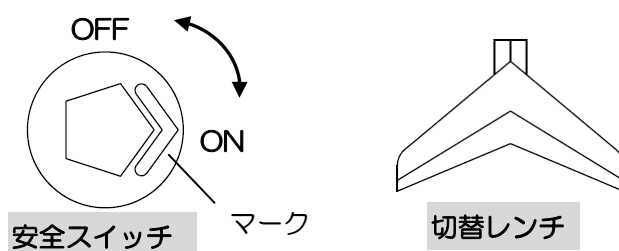
ベッドが最下点まで下降するため、ベッドの下に物や体の一部がないことを確認してから操作してください。

挟み込みによりケガや故障の原因となります。



● 安全スイッチについて

手元スイッチの裏側にある、安全スイッチの五角穴に付属の切替レンチを差し込み、「OFF」にマークを合わせると手元スイッチによる操作を禁止することができます。「ON」にマークを合わせると手元スイッチによる操作が可能になります。



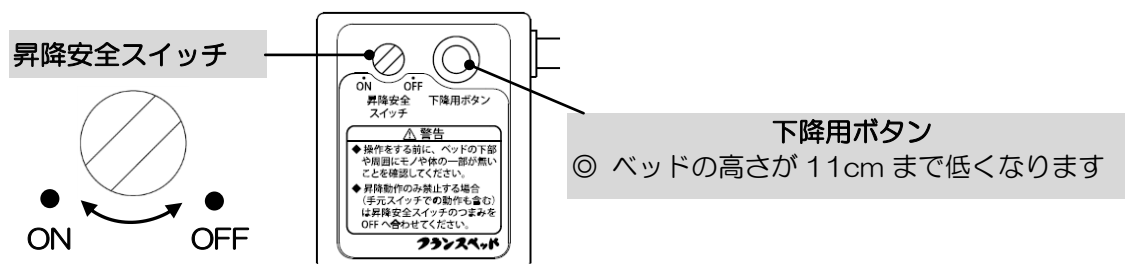
⚠ 注意

「OFF」の位置にマークがある場合は、手元スイッチでの操作はできません。タクトスイッチによる昇降動作は可能です。



7-3. タクトスイッチの操作方法

- 手元スイッチで下げられるベッドのボトム高さは 24cm までです。更にベッドを低く下げる際はタクトスイッチの下降用ボタンを押します。昇降安全スイッチを表記に沿って左に回すと「ON」に、右に回すと「OFF」になります。昇降安全スイッチが「ON」の時、下降用ボタンを押すことでベッドのボトム高さを 11cm まで下げることができます。
- ベッドのボトム高さ 11cm まで下げる場合、目視によりベッドの下や周囲の安全を確認します。挟み込んでしまうモノや、体の一部が挟まっていないことを確認してください。
- 以上の確認が取れたら、タクトスイッチを使用してベッドの高さを下げてください。



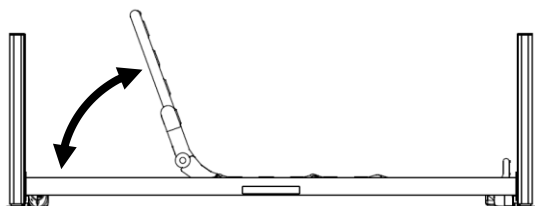
⚠ 注意

- | | |
|--|---|
| 昇降安全スイッチが「OFF」の時は、昇降動作のみをロックできます。手元スイッチでの昇降動作もできなくなりますが、手元スイッチによる背上げ、脚上げ動作は可能です。 | ⚠ |
| ベッドの動きを完全にロックする時は、手元スイッチの安全スイッチとタクトスイッチの昇降安全スイッチを「OFF」にしてください。 | ⚠ |

7-4. 背上げ動作と脚上げ動作の使用方法

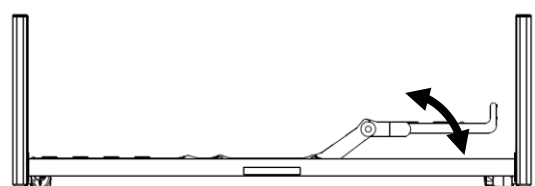
- 手元スイッチのボタンを押すことで、背上げ動作や脚上げ動作を行うことができます。

背上げ動作



- ベッドから起き上がりのときに便利です。
- ベッドでの食事、読書などで背もたれとして使用できます。
- 介護する方の負担を軽減します。

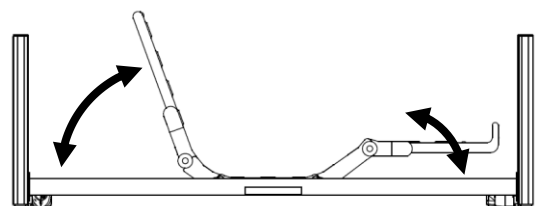
脚上げ動作



※ 3 モータータイプのための機構となります。

- 脚がむくんだときや、少し脚を上げたいときに使用します。
- 背上げをする時に先に上げておくと、体のずれを少なくできます。

背上げ + 脚上げ同時動作



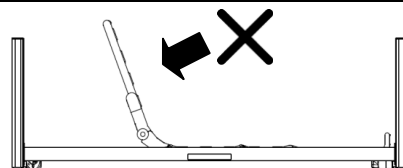
※ 3 モータータイプのための機構となります。

- 背と脚が同時に動きます。
- 背上げ動作による体のずれを防ぎます。

⚠ 注意

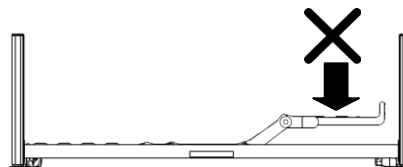
背上げたまま背ボトムに対して強い衝撃を与えないでください。

ベッドの破損、ケガの原因となります。



ベッドへ移乗させる場合、脚上げたまま移乗させないでください。

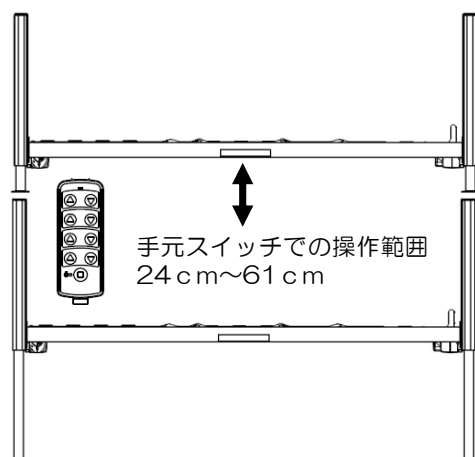
誤って脚上げた状態のところに移乗させてしまうとベッドの破損、ケガの原因となります。



7-5. 上下昇降動作（ハイロー機能）の使用方法

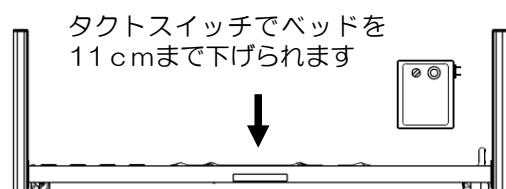
- 手元スイッチのボタンを押すことで、上下昇降動作を行うことができます。
- ベッド本体は 11 cm まで下げられるようになっていますが、挟み込みによる事故を防ぐために、手元スイッチでは 24 cm までしか下げられないようになっていました。
- 11 cm まで下げる場合、ベッドの下や周囲の安全を確認し、挟み込んでしまうモノや、体の一部がないことを目視による確認を行ってから、タクトスイッチを使用してベッドの高さを下げてください。

手元スイッチでの上下昇降動作



- ベッドから立ち上がる高さを調整することが出来ます。
- ポータブルトイレや車いすなどに移乗するときに高さを合わせられます。
- ベッドの高さを調節することによって楽な姿勢で介護が出来ます。
- ベッドが垂直に上下し、昇降時に前後に移動しません。
- 足などを挟まないよう、安全のため手元スイッチでは 24 cm までしか下げられません。

タクトスイッチでの下降動作

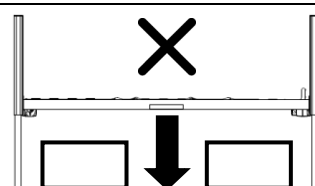


- タクトスイッチでベッドを 11 cm まで下げることができます。

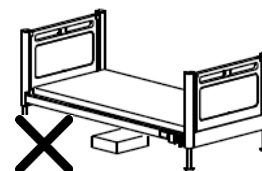
⚠ 注意

手元スイッチによりベッドの高さを下げるときは、ベッドの下にモノや体の一部がないことを確認してから操作してください。

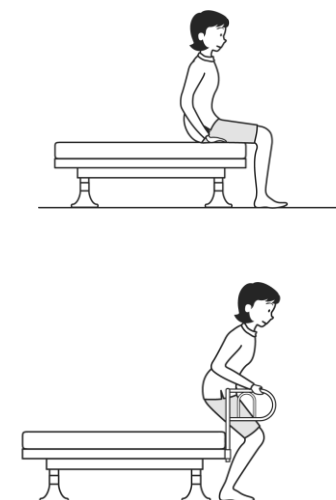
挟み込みによりケガや故障の原因となります。



ベッドの高さを床まで下げるときは、ベッドの下にモノや体の一部が挟まっていないことを確認してから操作してください。挟み込みによりケガや故障の原因となります。



上下昇降動作の活用方法

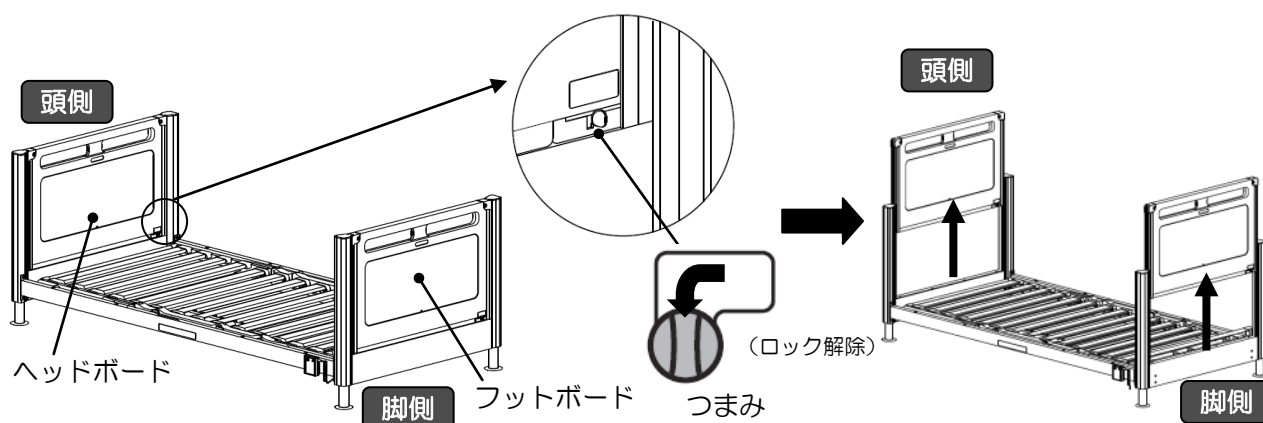


- 本製品は、高さを変えることで、立ち上がりや車いす、ポータブルトイレへの移乗が楽に行えます。
- マットレスの上に座り、かかとを床に着け、ひざが直角に曲がるくらいにすると座位が安定し、立ち上がりやすくなります。ベッド用グリップをご使用になりますと、「立つ」、「座る」の動作負担を軽くすることができます。
- ベッドからの移乗は、マットレスの上面が車いすやポータブルトイレなどの座面よりも少し高めの方が移乗しやすくなります。
- ベッドへ戻る場合は、マットレスの上面が少し低めの方が移乗しやすくなります。いずれも個人差があります。使う方に合った高さに調整してください。
- 低床位置で使用することで、転落時の衝撃を緩和することができます。
- 低床位置で使用することで、介護者の方が隣に寝た位置からでも様子をうかがうことができます。

- 動作説明の内容を十分理解し、動作確認できましたら、マットレスをギャッチフレームの上にのせて使用してください。

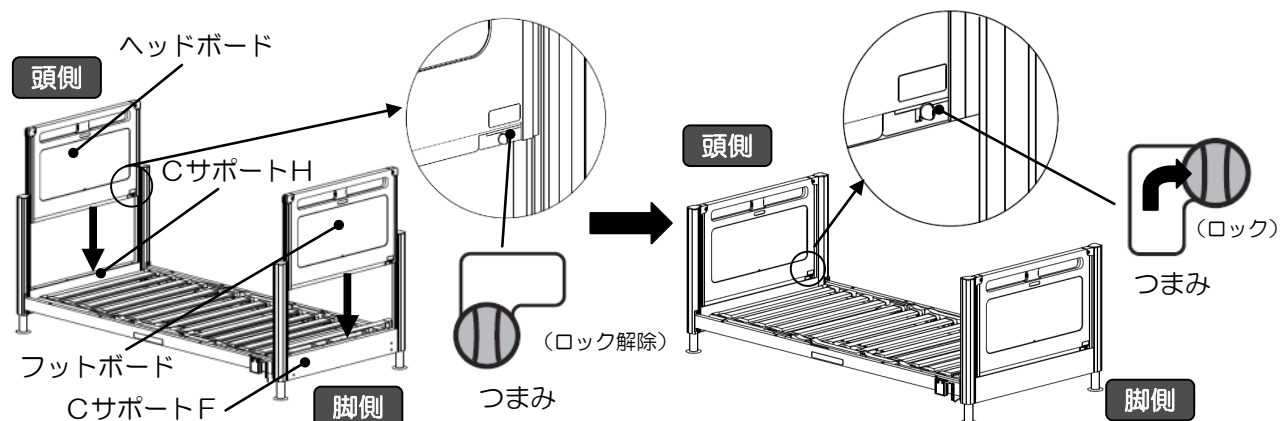
7-6. ヘッドボード、フットボードの脱着

- ヘッドボード、フットボードの取り外し方
ヘッドボード、フットボードの右下部にあるつまみの位置を、左下方向（ロック解除方向）に動かすとヘッドボード、フットボードのロックが解除され、ヘッドボード、フットボードを上へ引き上げて、取り外すことができます。



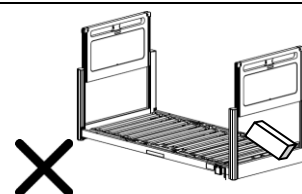
● ヘッドボード、フットボードの取り付け方

ヘッドボード、フットボードの右下部のつまみの位置が左下方（ロック解除方向）にある状態で、ヘッドボード、フットボードをCサポートH、CサポートFの内側に確実に差し込みます。その後、つまみを右上方向（ロック方向）へ移動させてヘッドボード、フットボードをロックします。

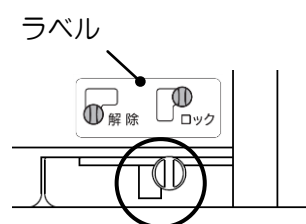


⚠ 注意

ヘッドボード、フットボードを取り付け、取り外しを行う際は、Cサポートとヘッドボード、フットボードの間にモノや体の一部がないことを確認してから取り付けてください。ケガの原因となります。

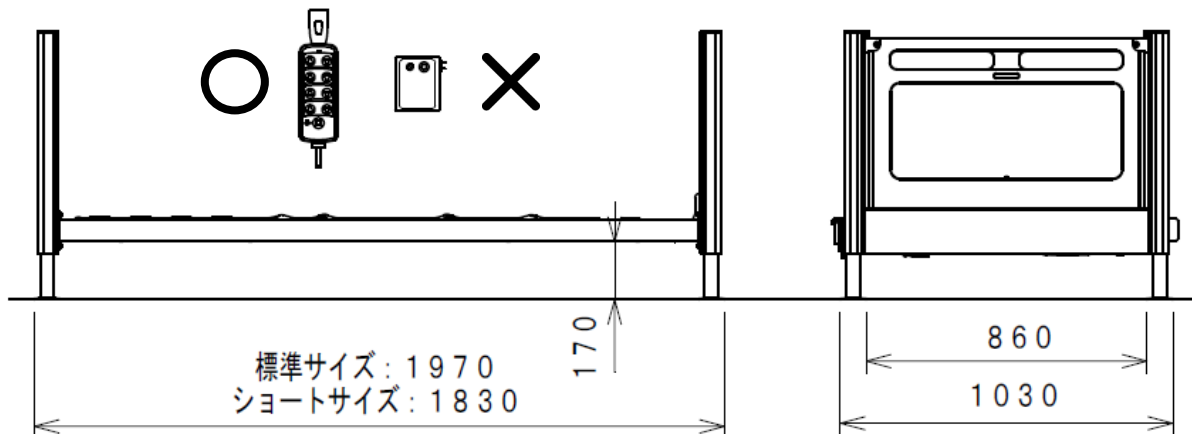


ヘッドボード、フットボードを取り付けた際、つまみの位置が必ずラベルのロック方向になっていることを確認し、ヘッドボード、フットボードが外れないことを確認してください。つまみがラベルの解除方向にあると、ヘッドボード、フットボードを意図せず持ち上げた時に意図せず外れてしまい、思わぬケガをする恐れがあります。



8. リフトの利用について

- リフトを使用する際は、必ず手元スイッチのみで操作し、ベッドの高さをタクトスイッチを使用する24cm～11cmの範囲内にはしないでください。
- ベッド頭側からリフトをご利用になる場合は、ベッド脚部を逃げる外側幅寸法は約1030mm、内側幅寸法は860mmです。
- ベッド側面からご利用になる場合は、脚部の内側 1970mm（標準サイズ）、1830（ショートサイズ）の範囲で床面から170mmとなります。
- ご利用できないリフトもありますので、販売店に相談してください。
- ご利用の際は、リフトに添付されております、リフトの取扱説明書に従ってください。



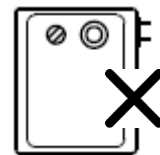
図は手元スイッチで操作した場合のすき間寸法です

⚠ 注意

リフトを使用する際は、タクトスイッチでベッドの高さを下げないでください。

タクトスイッチを操作してベッドを下げると床面とベッドのすき間がほとんどなくなります。

リフトを挟んでしまいケガをする恐れがあり、ベッドの故障の原因となります。



9. サイドレールとベッド用グリップについて

9-1. サイドレールの使用目的

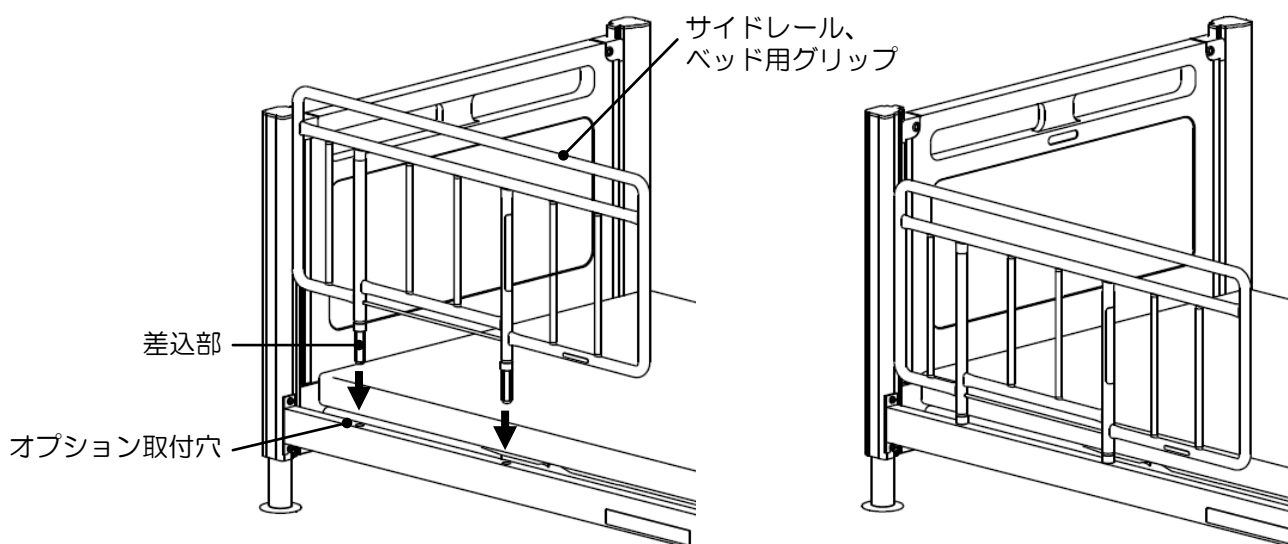
- サイドレールは、ベッドからの転落や寝具の落ち止めとして使用します。

9-2. ベッド用グリップの使用目的

- ベッド用グリップは、転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するものです。ベッドから乗り降りする方向の頭側に取り付けます。

9-3. サイドレールとベッド用グリップの取り付け方法

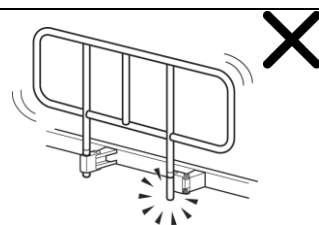
- サイドレール、ベッド用グリップはベッド左右にあるオプション取付穴に差し込みます。
- ベッド用グリップの取り付けは、各ベッド用グリップの使用方法を確認してください。



⚠ 注意

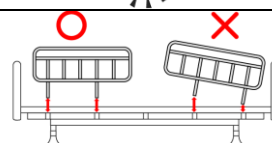
サイドレール、ベッド用グリップをベッドに取り付けるときは、必ず2ヶ所に差し込んでください。

固定が不十分だと、グラツキが発生し事故の原因となります。



サイドレールの抜き差しは無理せず平行に行ってください。

無理に抜き差しを行うと、破損の原因となります。



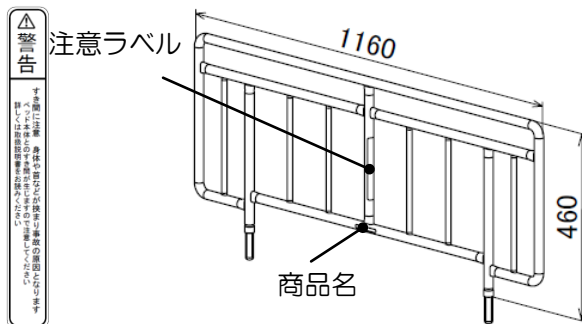
9-4. 適合するサイドレールとベッド用グリップ

- 本製品に適合するサイドレールとベッド用グリップを以下に示します。
- 商品名をご確認ください。
- 注意ラベルは、注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

標準サイズの適合するサイドレール及びグリップ

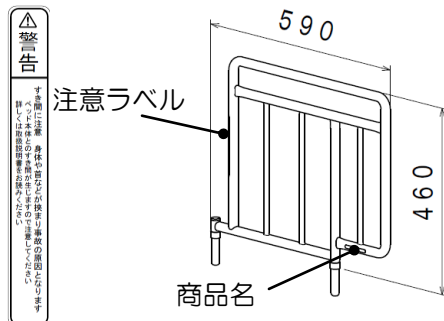
商品名	形状、寸法（mm）	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5（kg）
サイドレール SR-106JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 PP 3.5（kg）
サイドレール SR-300JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.0（kg）
サイドレール SR-300 ウッド JJ		天然木 スチールパイプ ウレタン塗装 エポキシ樹脂粉体塗装 4.0（kg）

サイドレール
SR-800JJ
※ショートサイズ非適合



スチール
エポキシ樹脂粉体塗装
4.5 (kg)

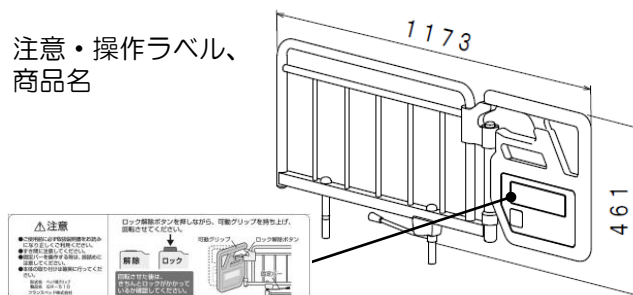
サイドレール
SR-350JJ
SR-351JJ



スチール
エポキシ樹脂粉体塗装
2.5 (kg)

ベッド用
グリップ
GR-510

注意・操作ラベル、
商品名



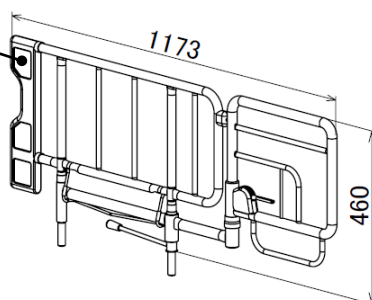
スチール
エポキシ樹脂粉体塗装
7.0 (kg)

ベッド用
グリップ
マルチ移動
支援バー
SE-07JJ

注意ラベル、
商品名

△注意
●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくご利用ください。
●使用前に注意してください。
●本体の取り付けは確実に行ってください。
●移動バー操作時以外は常にロックレバーを固定の状態にしてご使用ください。

商品名 ベッド用グリップ
マルチ移動支援バー
SE-07JJ
フランスベッド株式会社



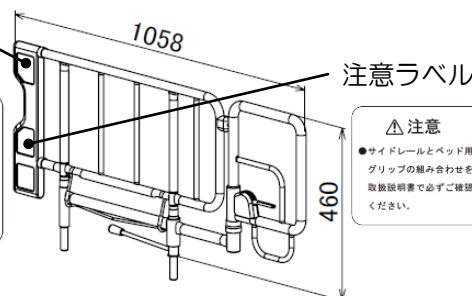
スチール
エポキシ樹脂粉体塗装
7.0 (kg)

ベッド用
グリップ
マルチ移動
支援バー
SE-05JJ

注意ラベル、
商品名

△注意
●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくご利用ください。
●使用前に注意してください。
●本体の取り付けは確実に行ってください。
●移動バー操作時以外は常にロックレバーを固定の状態にしてご使用ください。

商品名 ベッド用グリップ
マルチ移動支援バー
SE-05JJ
フランスベッド株式会社



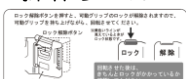
スチール
エポキシ樹脂粉体塗装
7.0 (kg)

ベッド用
グリップ
GR-500

注意ラベル、商品名



操作ラベル

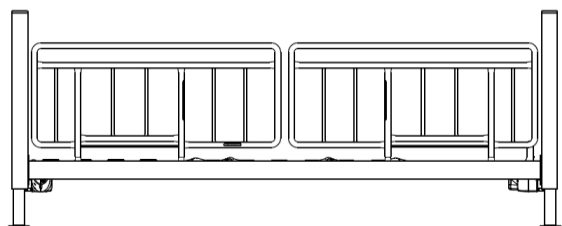


スチール
粉体塗装
PP
PE
9.0 (kg)

標準サイズのサイドレールとベッド用グリップの推奨取り付け位置

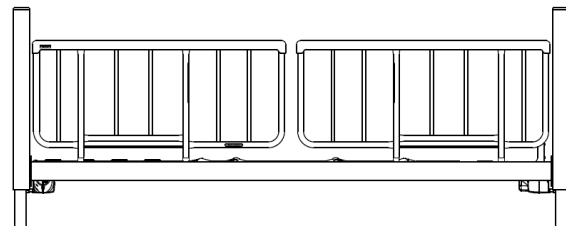
サイドレールの推奨取り付け位置

※ 図は 2 本差しの例です。片側に 1 本差しも可能です。



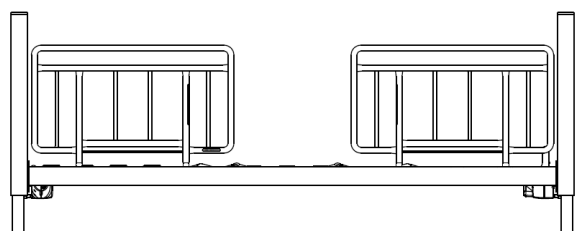
頭側：SR-100JJ

脚側：SR-100JJ



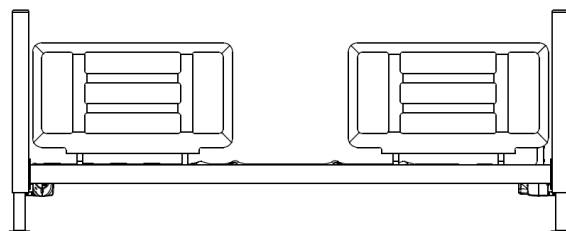
頭側：SR-106JJ

脚側：SR-106JJ

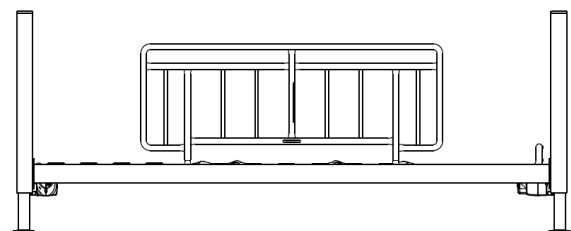


頭側：SR-300JJ

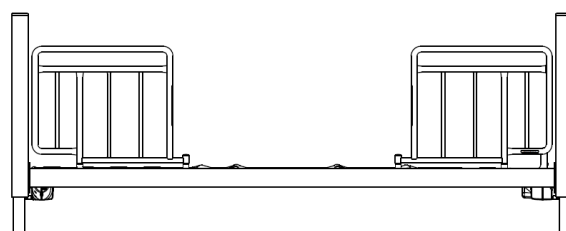
脚側：SR-300JJ



頭側：SR-300 ウッド JJ 脚側：SR-300 ウッド JJ



中央：SR-800JJ



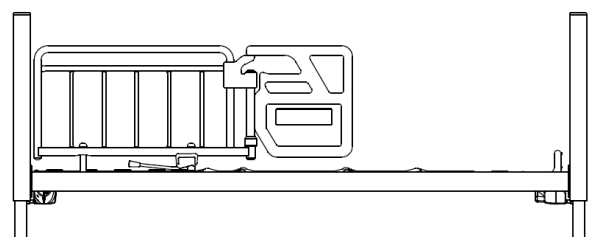
頭側：SR-350JJ

脚側：SR-350JJ

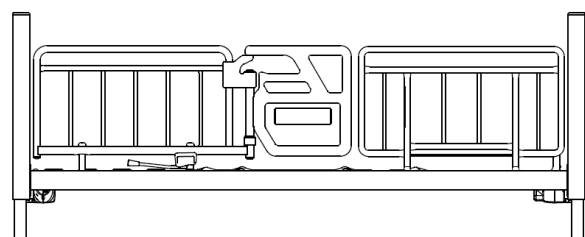
SR-351JJ

SR-351JJ

ベッド用グリップの推奨取り付け位置

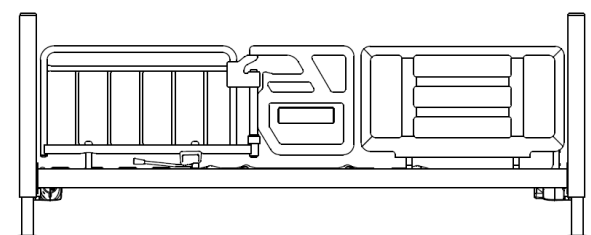


頭側：GR-510



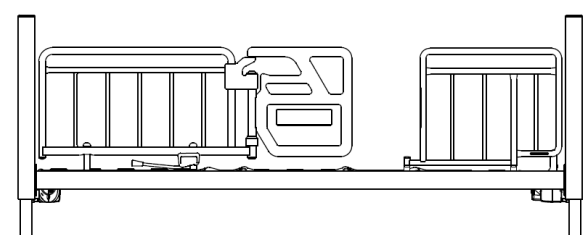
頭側：GR-510

脚側：SR-300JJ



頭側：GR-510

脚側：SR-300 ウッド JJ

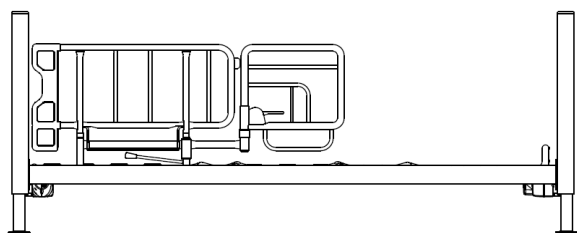


頭側：GR-510

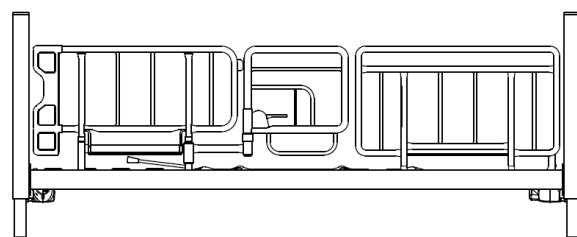
脚側：SR-350JJ

SR-351JJ

ベッド用グリップの推奨取り付け位置

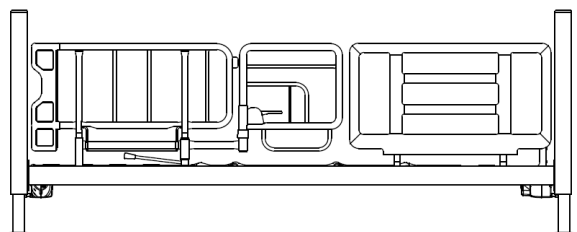


頭側：SE-07JJ



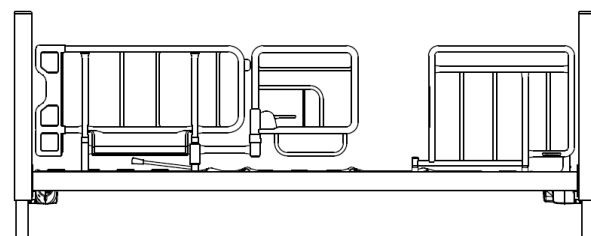
頭側：SE-07JJ

脚側：SR-300JJ



頭側：SE-07JJ

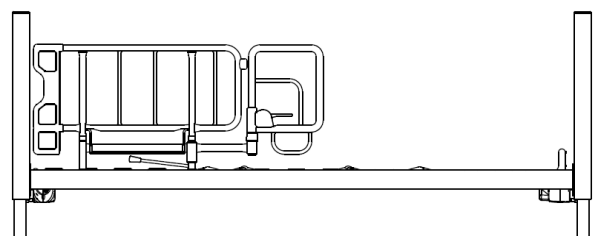
脚側：SR-300 ウッド JJ



頭側：SE-07JJ

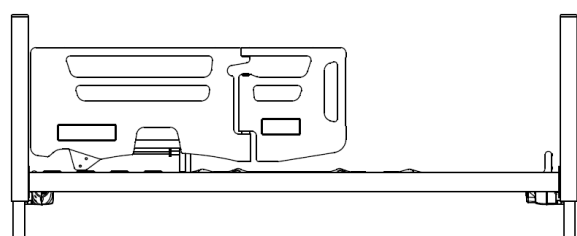
脚側：SR-350JJ

SR-351JJ

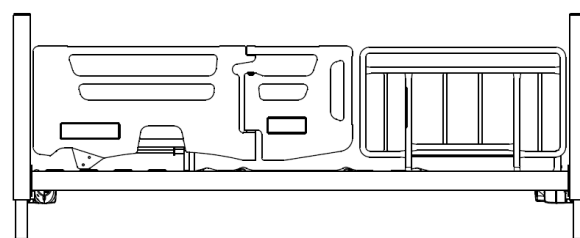


頭側：SE-05JJ

※SE-05JJ を頭側で使用するときは、
脚側にサイドレールを差さないでください。

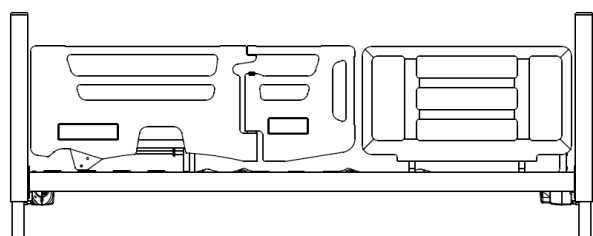


頭側：GR-500



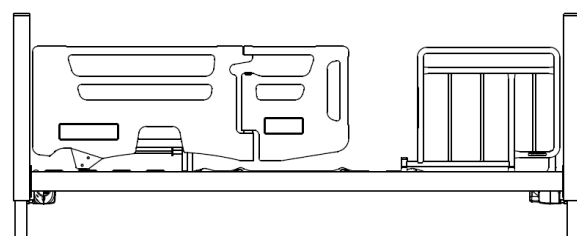
頭側：GR-500

脚側：SR-300JJ



頭側：GR-500

脚側：SR-300 ウッド JJ



頭側：GR-500

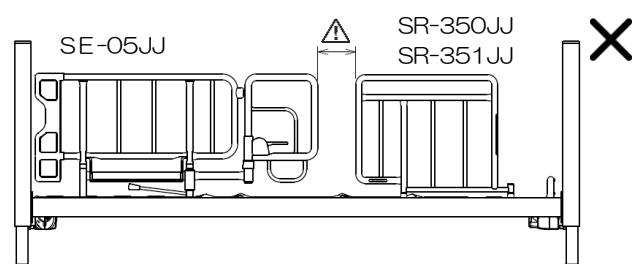
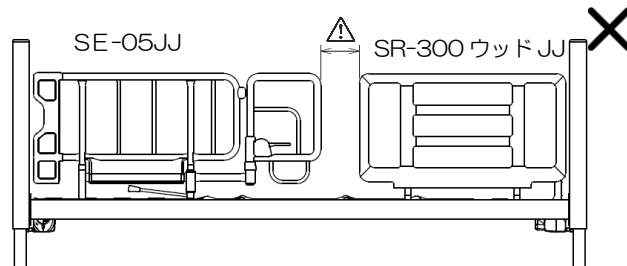
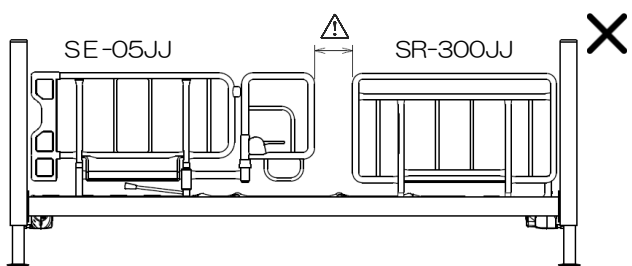
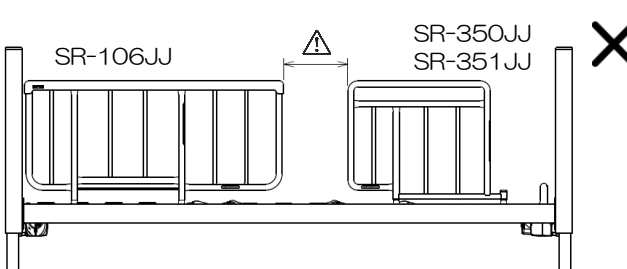
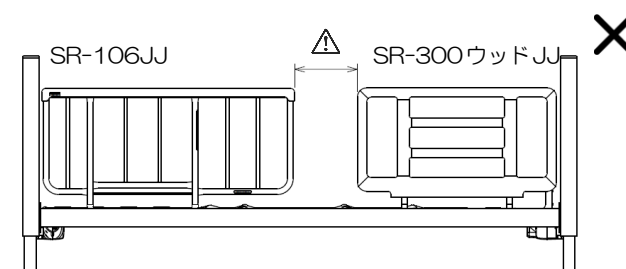
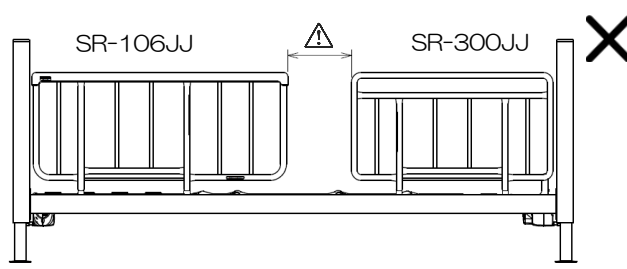
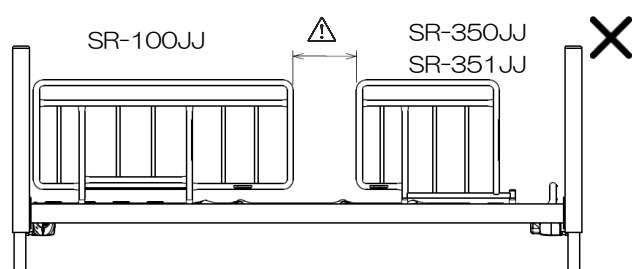
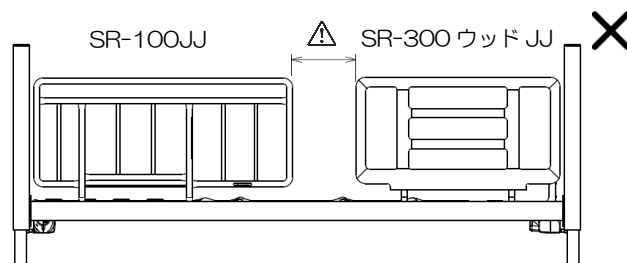
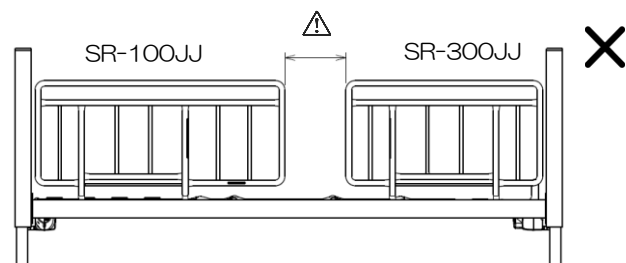
脚側：SR-350JJ

SR-351JJ

警告

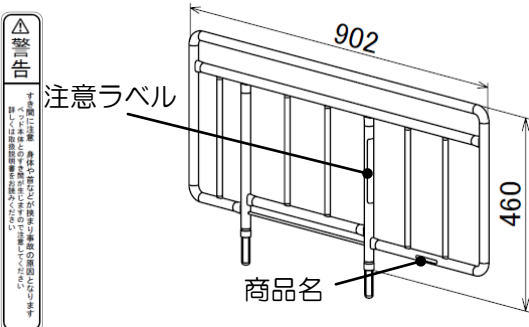
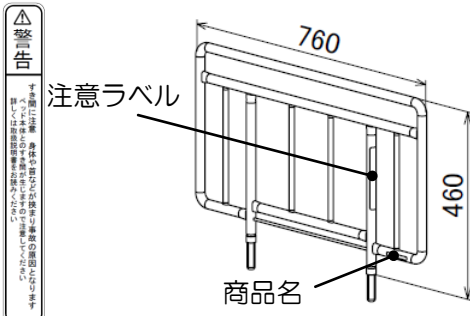
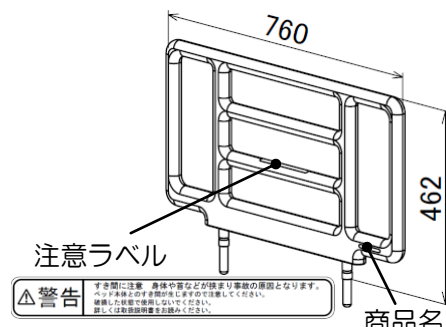
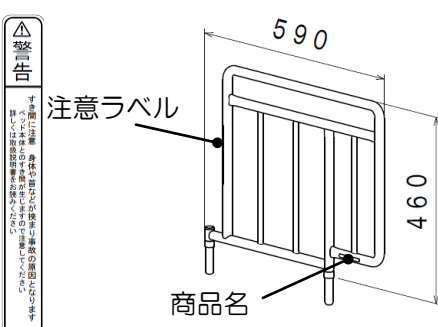
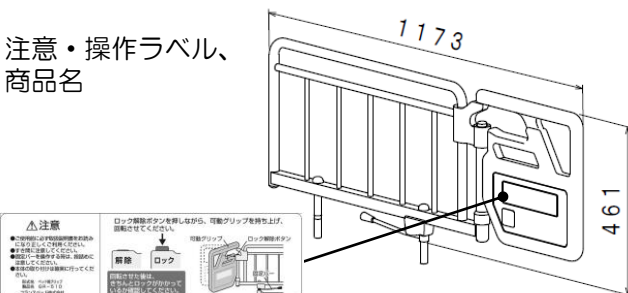
- 身体を挟み込む危険性があるすき間が発生するため、使用禁止の組み合わせ。

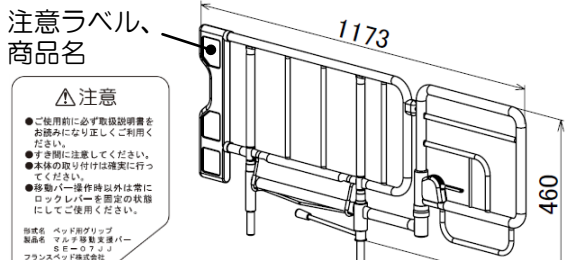
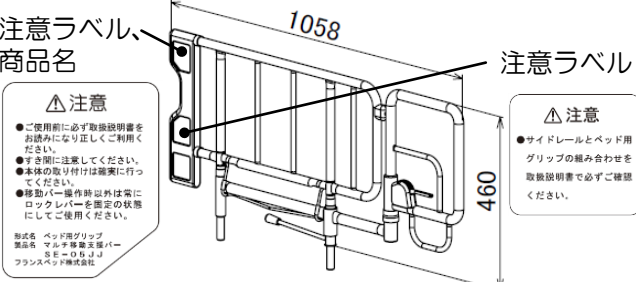
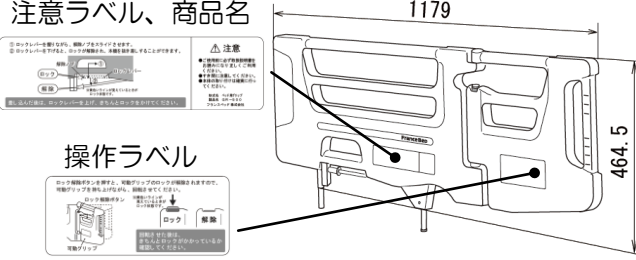
以下のサイドレールとサイドレール、およびベッド用グリップとサイドレールの組み合わせは、並べて使用した時に、身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間が発生します。以下の組み合わせでは使用しないでください。



※△は身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間です。
 ※図示と頭側、脚側を入れ替えても同じようにすき間が発生します。

ショートサイズの適合するサイドレール及びグリップ

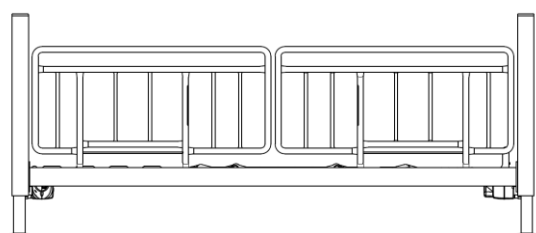
商品名	形状、寸法 (mm)	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJS		<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5 (kg)</p>
サイドレール SR-300JJ		<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.0 (kg)</p>
サイドレール SR-300 ウッド JJ		<p>天然木 スチールパイプ ウレタン塗装 エポキシ樹脂粉体塗装 4.0 (kg)</p>
サイドレール SR-350JJ SR-351JJ		<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 2.5 (kg)</p>
ベッド用 グリップ GR-510	<p>注意・操作ラベル、 商品名</p> 	<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)</p>

<p>ベッド用 グリップ マルチ移動 支援バー SE-07JJ</p>	<p>注意ラベル、 商品名</p>  <p>△注意 ●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくご利用ください。 ●使用前に注意してください。 ●本体の取り付けは確実に行ってください。 ●移動バー操作時以外は常にロックレバーを固定の状態にしてご使用ください。</p> <p>形式名 ベッド用グリップ 製品名 マルチ移動支援バー SE-07JJ フランスベッド株式会社</p>	<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)</p>
<p>ベッド用 グリップ マルチ移動 支援バー SE-05JJ</p>	<p>注意ラベル、 商品名</p>  <p>△注意 ●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくご利用ください。 ●使用前に注意してください。 ●本体の取り付けは確実に行ってください。 ●移動バー操作時以外は常にロックレバーを固定の状態にしてご使用ください。</p> <p>形式名 ベッド用グリップ 製品名 マルチ移動支援バー SE-05JJ フランスベッド株式会社</p> <p>△注意 ●サイドレールとベッド用グリップの組み合わせを取扱説明書で必ずご確認ください。</p>	<p>スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)</p>
<p>ベッド用 グリップ GR-500</p>	<p>注意ラベル、商品名</p>  <p>△注意 ●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくご利用ください。 ●使用前に注意してください。 ●本体の取り付けは確実に行ってください。 ●移動バー操作時以外は常にロックレバーを固定の状態にしてご使用ください。</p> <p>形式名 ベッド用グリップ 製品名 マルチ移動支援バー GR-500 フランスベッド株式会社</p> <p>操作ラベル</p> <p>△注意 ●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくご利用ください。 ●使用前に注意してください。 ●本体の取り付けは確実に行ってください。 ●移動バー操作時以外は常にロックレバーを固定の状態にしてご使用ください。</p>	<p>スチール 粉体塗装 PP PE 9.0 (kg)</p>

ショートサイズのサイドレールとベッド用グリップの推奨取り付け位置

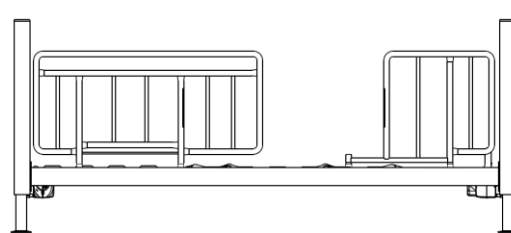
サイドレールの推奨取り付け位置

※ 図は 2 本差しの例です。片側に 1 本差しも可能です。



頭側：SR-100JJS

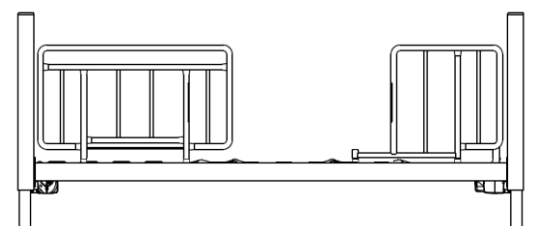
脚側：SR-100JJS



頭側：SR-100JJS

脚側：SR-350JJ

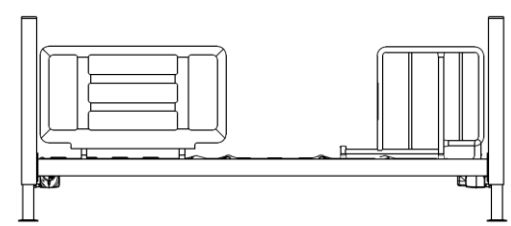
SR-351JJ



頭側：SR-300JJ

脚側：SR-350JJ

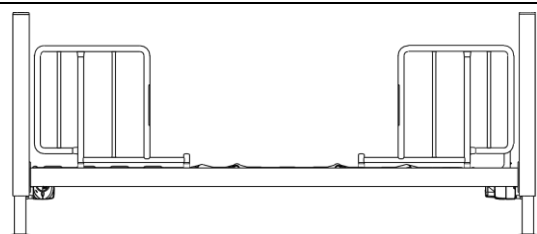
SR-351JJ



頭側：SR-300 ウッド JJ

脚側：SR-350JJ

SR-351JJ



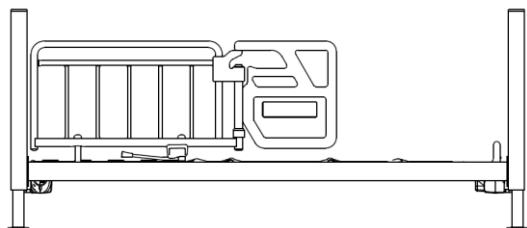
頭側：SR-350JJ

脚側：SR-350JJ

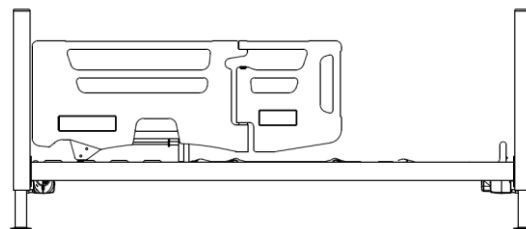
SR-351JJ

SR-351JJ

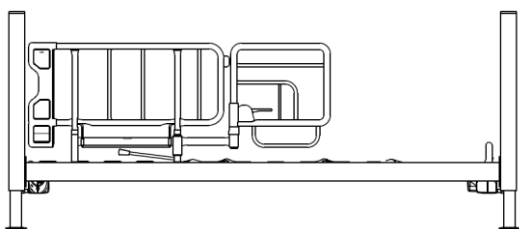
ベッド用グリップの推奨取り付け位置



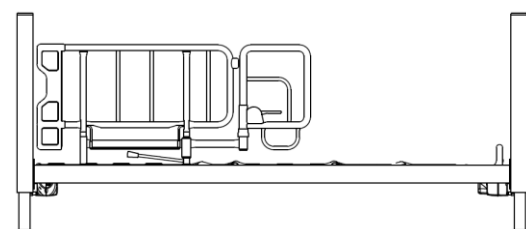
頭側：GR-510



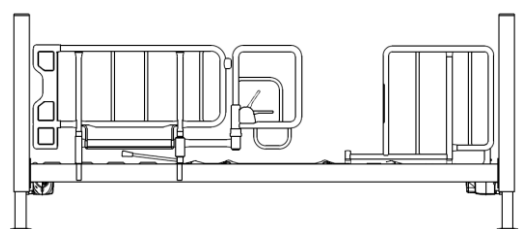
頭側：GR-500



頭側：SE-07JJ



頭側：SE-05JJ



頭側：SE-05JJ

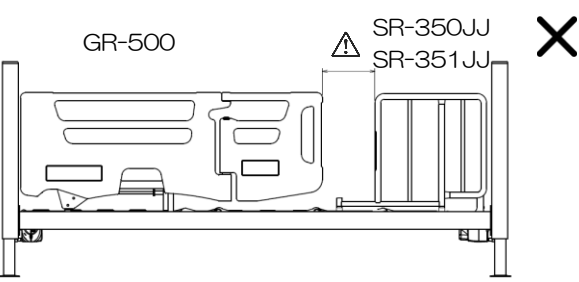
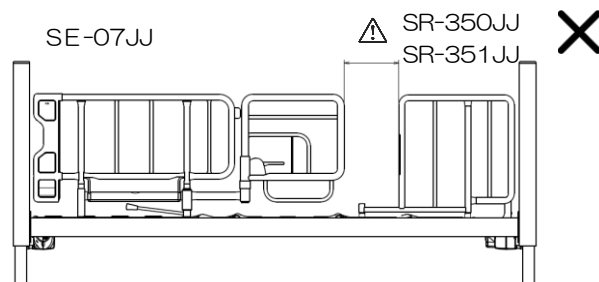
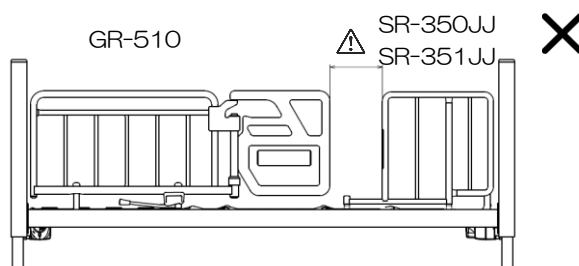
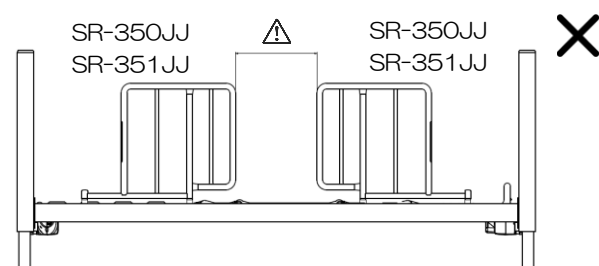
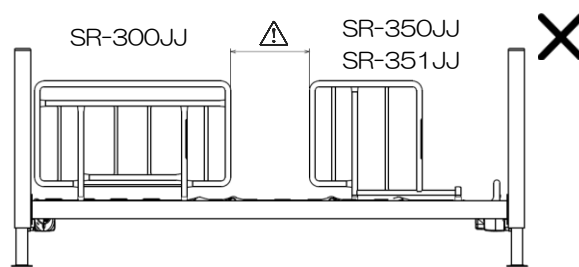
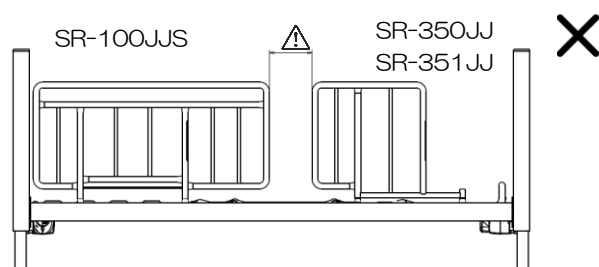
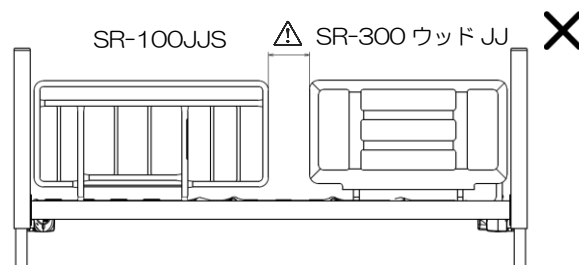
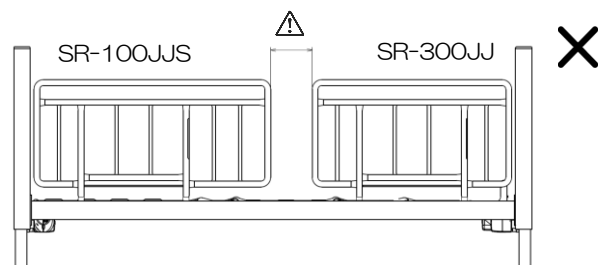
脚側：SR-350JJ

脚側：SR-351JJ

⚠ 警告

- 身体を挟み込む危険性があるすき間が発生するため、使用禁止の組み合わせ。

以下のサイドレールとサイドレール、およびベッド用グリップとサイドレールの組み合わせは、並べて使用した時に、身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間が発生します。以下の組み合わせでは使用しないでください。

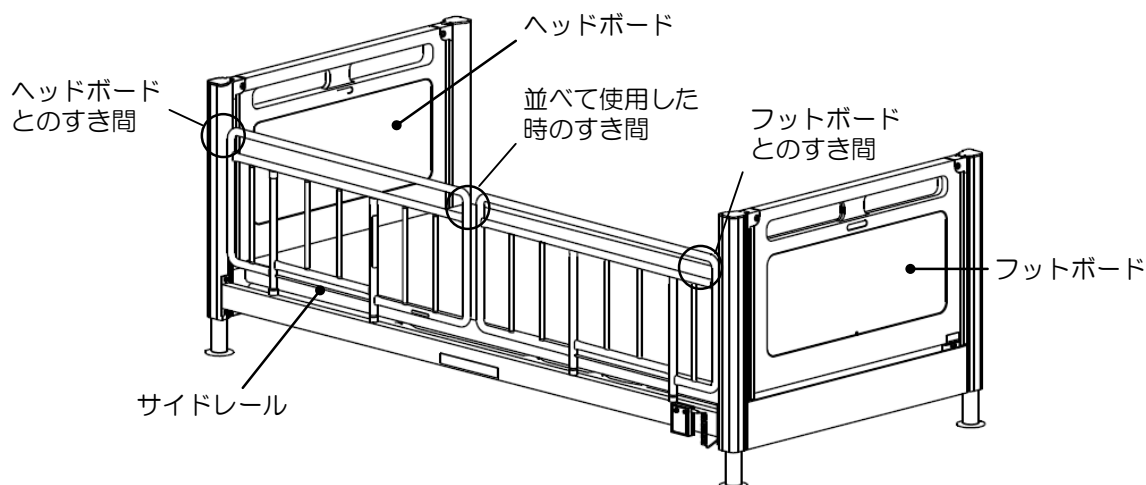


※⚠は身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間です。

※図示と頭側、脚側を入れ替えても同じようにすき間が発生します。

9-5 サイドレールとベッド用グリップの注意事項

- サイドレールとベッド用グリップの共通の注意事項を以下に示します。

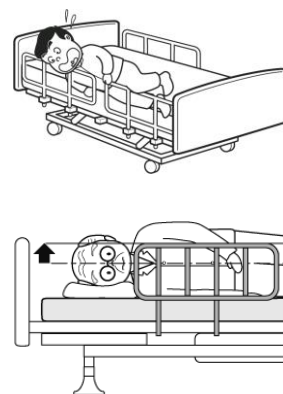


ベッドに設置した場合のすき間に関する注意

⚠ 警告

使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。特に厚いマットレス（エアマットレスなど）との組み合わせによっては相対的にサイドレール、ベッド用グリップ高さが低くなります。乗り越えないよう注意してください。マットレスは指定の厚さのものをご使用ください。使用者が側臥位（そくがい）の寝姿勢をとったとき、身体の中心線（鼻とへそを結ぶ線）より高くなることを確認してください。

ベッドから転落してケガをする恐れがあります。



ベッドとの組み合わせによってはすき間ができます。すき間に身体（手足、首など）を挟まないように注意してください。身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。



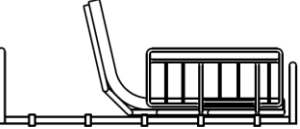

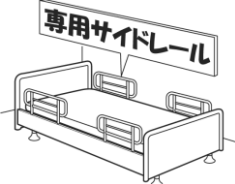





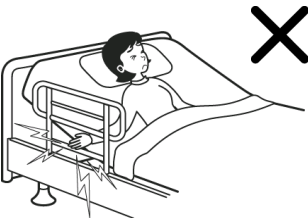

また、使用者の病状や症状に応じてサイドレール、ベッド用グリップには安全グッズや毛布、クッションなどを合わせて使用することをおすすめします。特にご自身で体位を保持できない使用者には十分注意してください。



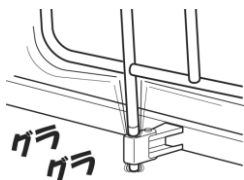



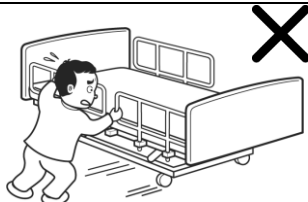



サイドレールやベッド用グリップへの寄りかかりや、身体の圧迫には注意してください。

サイドレールやベッド用グリップへ寄りかかっていると身体が圧迫されて、傷害や生命の危機にかかわるケガをする恐れがあります。



<p>サイドレールやベッド用グリップを1本で使用（ベッドの片側での使用）する際はベッドとのすき間が大きくなることがありますので注意してください。特に身体を保持できない使用者には注意してください。サイドレール、ベッド用グリップをベッドの片側にのみ差した場合、背上げをしたマットレスとサイドレール、ベッド用グリップのすき間に身体がはさまれる可能性がありますので注意してください。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップを差し込む位置によっては、背上げをしたマットレスとV字形のすき間になる場合がありますので注意してください。</p> <p>身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。</p>		
<p>サイドレールをお使いになる場合は、弊社製のサイドレールを使用してください。また、落下する可能性の大きい使用者に対しては、側面全体をサイドレールで覆うなどの方法が有効です。</p>		
<p>使用者の就寝時にサイドレール、ベッド用グリップを使用する場合、「サイドレール、ベッド用グリップが立っています。」と声を掛けてください。</p> <p>使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップの存在を忘れる方がいます。就寝前にサイドレール、ベッド用グリップがある事を認識させてください。</p>		
<p>ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。</p> <p>ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。</p> <p>衣服によっては、転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに引っかかったり重大事故となる恐れがあります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップの上に立ったり、腰掛けたりして無理な力を加えるような異常な使い方はしないでください。また、サイドレールやベッド用グリップをまたいでベッドの乗り降りをしないでください。</p> <p>破損や転倒、転落をして事故の原因となります。</p>		
<p>サイドレールやベッド用グリップのすき間に身体（手足、首など）を入れないでください。背上げなどベッドの操作をするときに、挟まれる可能性があります。</p> <p>特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができない方などには注意してください。また、こういった方に使用する際は、事故を防止するために、すき間をクッション材や毛布などで埋めてください。清拭やシーツ交換の際も、使用者の手、指の挟み込みに注意してください。</p> <p>挟まれてケガをする恐れがあります。</p>		

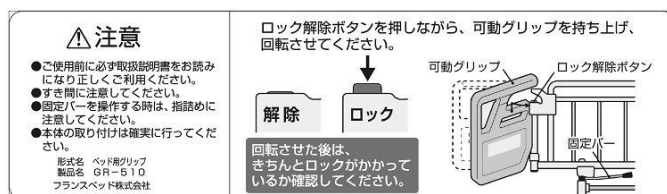
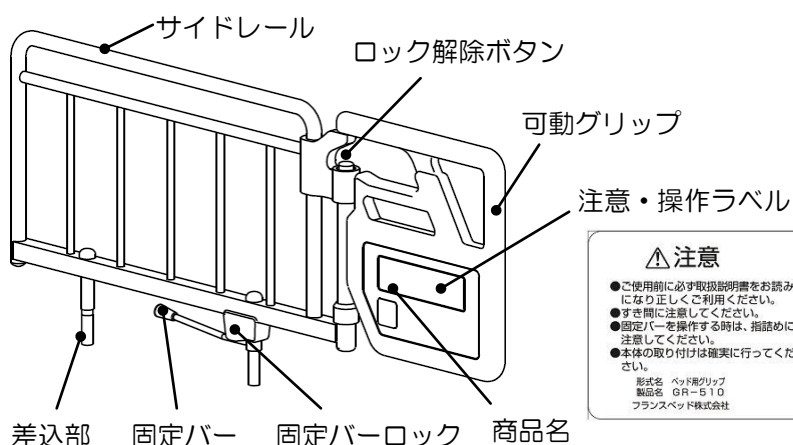
⚠ 注意

長期間の使用などにより差し込み部分がゆるくなり不安定になった場合は販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。		
ぐらついたまま使用していると思わぬ事故の原因となります。		
座位が保てない方の使用は注意してください。		
背上げをした状態で座位を保持することが困難な方がサイドレール、ベッド用グリップに倒れ込むことにより頸部（けいぶ）圧迫による重大事故の原因となる場合があります。		
思わぬケガをしないように、製品に異常がないか定期的に点検してください		
サイドレールやベッド用グリップを持って、ベッドを移動するなど無理な力をかけないでください。 過大な力が掛かり変形、破損の原因となります。		
本取扱説明書で指定された以外の組み合わせで使用しないでください。		
お客様による修理、改造は絶対にしないでください。修理は販売店または弊社お客様相談室にご依頼ください。思わぬ事故の原因となります。		

9-6. ベッド用グリップ GR-510 の使用方法

● ベッド用グリップ GR-510 の各部の名称

GR-510 の各部の名称を下記に示します。



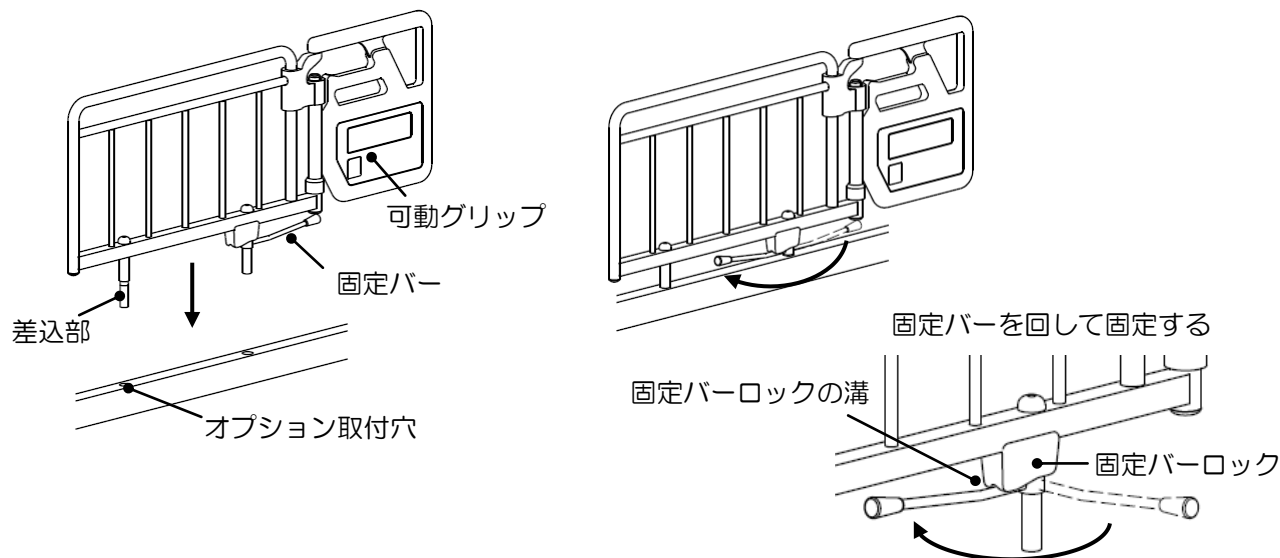
GR-510 の各部の名称

● ベッド用グリップ GR-510 の設置方法

推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めます。

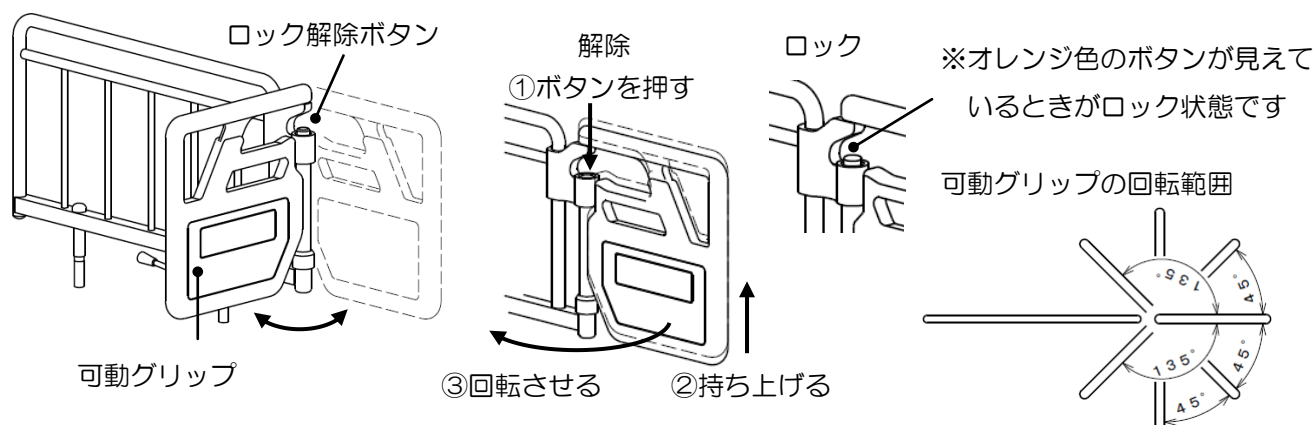
固定バーを可動グリップ側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。

固定バーをサイドレール側に回して、固定バーロックの溝で固定します。



● 可動グリップの操作方法

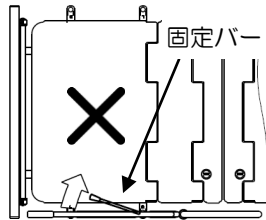
ロック解除ボタンを押すと、可動グリップのロックが解除されますので、押しながら可動グリップを持ち上げ、回転させてください。可動グリップは真っ直ぐと 45°、90°、135° と回転させた位置で固定することができます。回転させた後は、確実に固定されているか確認してください。



● ベッド用グリップ GR-510 の注意事項

ベッド用グリップ GR-510 の注意事項を以下に示します。

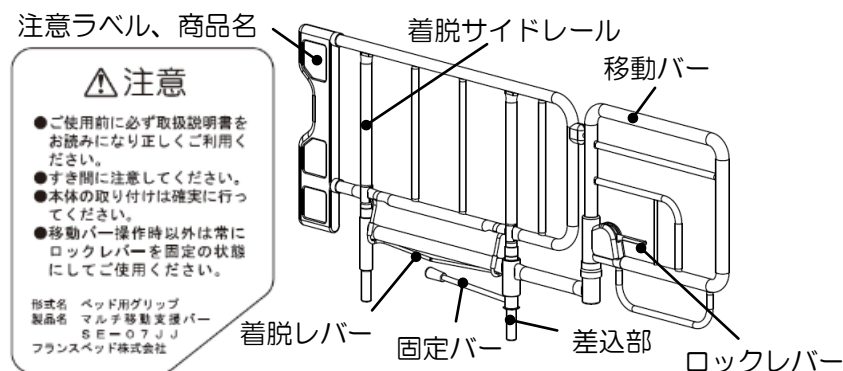
⚠ 警告	
<p>ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒などの事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。</p> <p>操作時に誤って転落し、ケガをする恐れがあります。</p>	⚠
<p>固定バーは確実に固定バーロックの溝にはまっていることを確認してから使用してください。</p> <p>固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります事故の原因となります。</p>	⚠
<p>可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。</p> <p>固定が不十分だと、可動グリップが不意に回転し、転倒、ケガをする恐れがあります。</p>	⚠
<p>45° で固定したとき、マットレスと可動グリップにV字形のすき間ができますので注意してください。</p> <p>身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。</p>	⚠

⚠ 注意	
<p>操作のときに、手指を挟まないように注意してください。</p> <p>ケガや事故の原因となります。</p>	⚠
<p>可動グリップを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。</p> <p>すき間により、手指が挟まれる恐れがあります。</p>	⚠
<p>可動グリップを固定する角度（0°、90° 以外の場合）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。</p> <p>事故やケガの原因となります。</p>	⚠
<p>固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。</p> <p>固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。</p>	
<p>可動グリップは、マットレス側には回転させないでください。</p> <p>事故や破損の原因となります。</p>	⊘

9-7. ベッド用グリップ マルチ移動支援バー SE-07JJ/SE-05JJ の使用方法

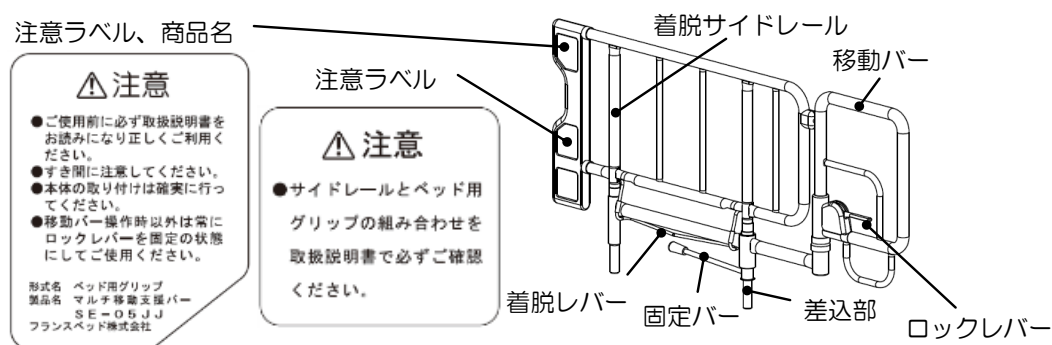
● ベッド用グリップ マルチ移動支援バー SE-07JJ/SE-05JJ の各部の名称

SE-07JJ の各部の名称を下記に示します。



SE-07JJ の各部の名称

SE-05JJ の各部の名称を下記に示します。



SE-05JJ の各部の名称

警告

ベッドに確実に固定されていることを確認してから使用してください。SE-05JJ を設置した場合は、足側に対応するサイドレールはないため全面柵としてのご使用はできません。

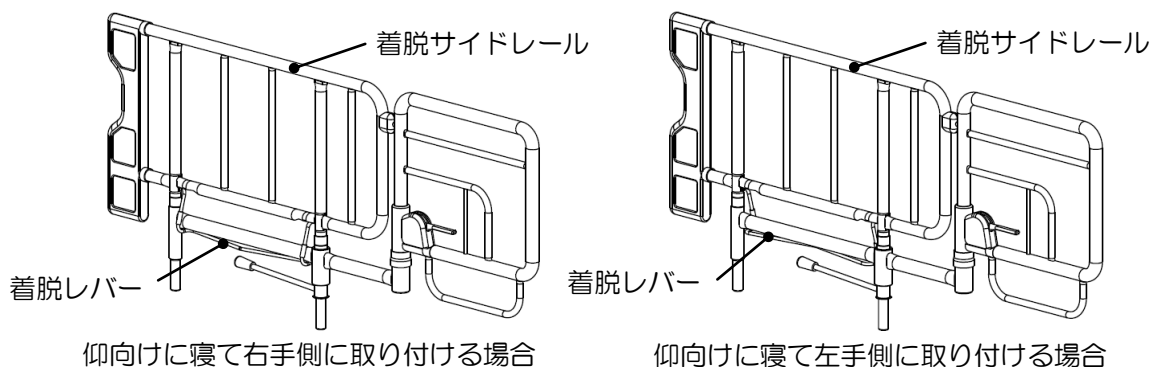
事故の原因となります。



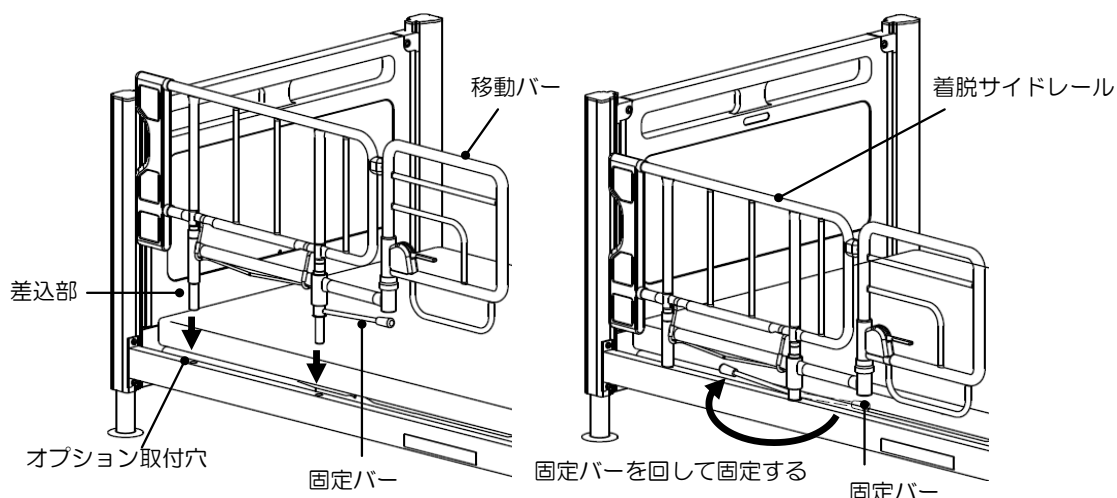
● ベッド用グリップ マルチ移動支援バー SE-07JJ/SE-05JJ の設置方法

推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めます。

着脱レバーがベッドの外側に向くように、付け替えます（着脱サイドレールの取り外し時にベッドの外側から操作するため）。着脱レバーを付け替えるには、まず着脱レバーを内側にしならせて抜き取ります。そして着脱サイドレールの反対側に、着脱レバーを内側にしならせて、入れ込みます。

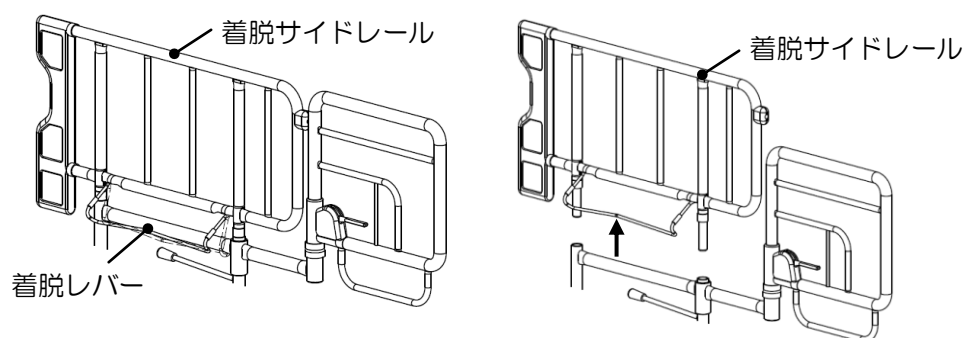


固定バーを移動バー側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。その後、固定バーを着脱サイドレール側に回して固定します。



● 着脱サイドレールの取り外し方法

図のように着脱レバーを上げると、着脱サイドレールを取り外すことができます。









● 移動バーの操作方法





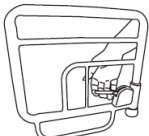
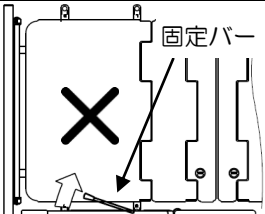



ロックレバーを上を持ち上げると固定が解除され、移動バーを回転させる事ができます。位置が決まったら、ロックレバーを下げて固定してください。移動バーは 150° の範囲で 30° ごとに固定できます。最後に、きちんとロックがかかっているか確認してください。

● ベッド用グリップ マルチ移動支援バー SE-07JJ/SE-05JJ の注意事項

SE-07JJ/SE-05JJ の注意事項を以下に示します。

<div style="text-align: center;">  警告 </div>	
固定バーによりベッドに固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります。事故の原因となります。	
移動バーがロックレバーにより、固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、移動バーが不意に回転し、転倒、ケガをする恐れがあります。	
着脱サイドレールの着脱レバーは固定の位置になっている事を確認してから使用してください。 本品がベッドフレームから外れる可能性があります。事故の原因となります。	
ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒などの事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。 操作時に誤って転落し、ケガをする恐れがあります。	
着脱サイドレールは単独でサイドレールとして使わないでください。 事故や破損の原因となります。	

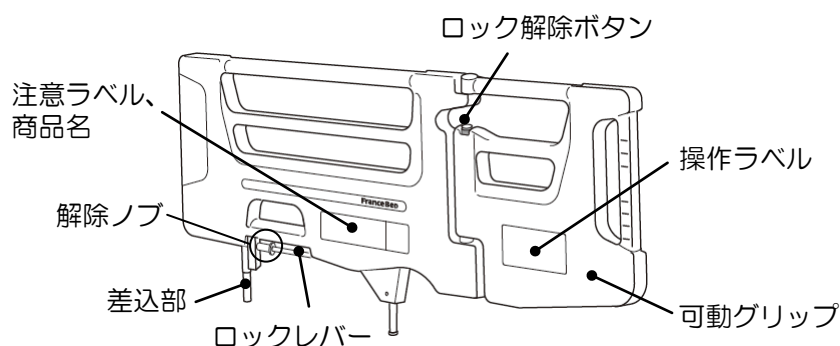
⚠ 注意

<p>操作のときに、手指を挟まないように注意してください。 ケガや事故の原因となります。</p>	
<p>移動バーを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。 すき間により、手指が挟まれる恐れがあります。</p>	
<p>移動バーを固定する角度（0°、90° 以外の場合）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。 事故やケガの原因となります。</p>	
<p>ロックレバーの解除操作をする際はレバーを握らず、下から引き上げるように解除してください。 勢いよく解除された場合、手の甲が挟まれる恐れがあります。</p>	 
<p>固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。 固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。</p>	 
<p>移動バーは、マットレス側には回転させないでください。 事故や破損の原因となります。</p>	
<p>SE-05JJ を頭側で使用するときは、脚側にサイドレールを差さないでください。</p>	

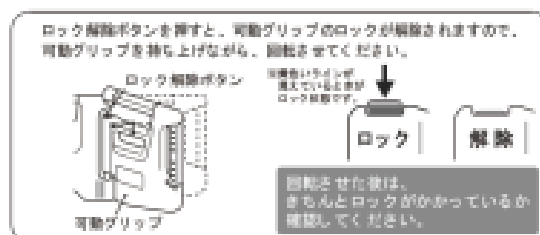
9-8. ベッド用グリップ GR-500 の使用方法

● ベッド用グリップ GR-500 の各部の名称

GR-500 の各部の名称を下記に示します。



注意ラベル、商品名（ロックレバー操作説明）



操作ラベル（ロック解除ボタン操作説明）

GR-500 の各部の名称

● ベッド用グリップ GR-500 の設置方法

推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めます。

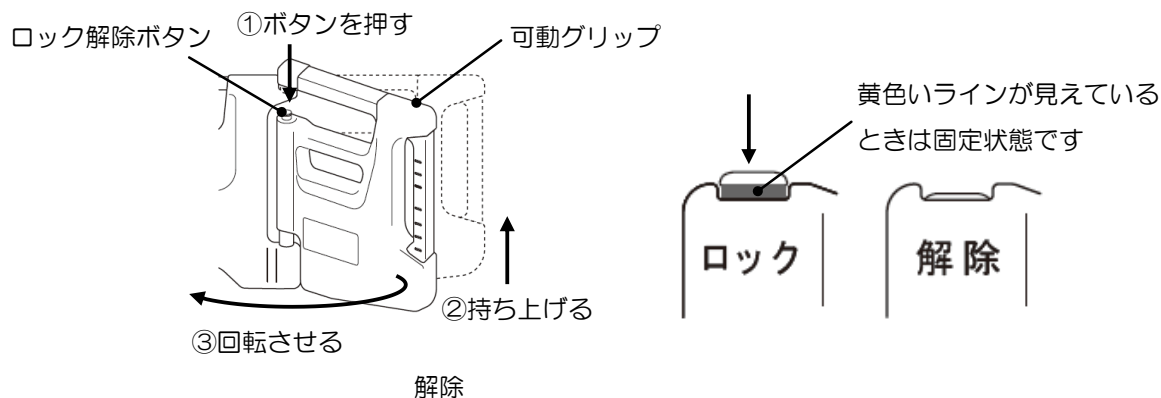
⚠ 注意

確実に差し込まれていないと固定できません。



● 可動グリップの操作方法

ロック解除ボタンを押すと、可動グリップの固定が解除されますので、押しながら可動グリップを持ち上げ、回転させてください。可動グリップは真っ直ぐと 90° 回転させた位置で固定することができます。回転させた後は、確実に固定されているか確認してください。



● ベッド用グリップ GR-500 の注意事項





ベッド用グリップ GR-500 の注意事項を以下に示します。

⚠ 警告	
ベッドに確実に固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります事故の原因となります。	⚠
可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、移動バーが不意に回転し、転倒、ケガをする恐れがあります。	⚠
ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒などの事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。 操作時に誤って転落し、ケガをする恐れがあります。	⚠

⚠ 注意	
操作のときに、手指を挟まないように注意してください。 ケガや事故の原因となります。	⚠
可動グリップを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。 すき間により、手指が挟まれる恐れがあります。	⚠

10. ベッドフレームの分解方法

注意

床の材質によっては、分解時に床面が傷つくことがありますので、ダンボール材や敷物などを敷いて床面の保護を行ってください。	
分解の際には、ケガなどに十分注意して作業を行ってください。	
分解を行う前に、「1. 安全のために必ずお守りください」、「2. 各部の名称」、「3. 部品の確認」、「5. ベッドの組立手順」をよく読んでおいてください。	
分解の際には、部品の上に乗らないでください。 部品の変形や破損の原因となります。	

ベッドフレームを分解するときは、以下の手順で行います。

10-1. 分解前の準備

手元スイッチを操作して、背ボトムと脚ボトムを平らにし、高さを 20cm 程度にします。

10-2. サイドフレームのボタンボルトをゆるめる

ヘッドボードユニット、フットボードユニットとサイドフレームを固定している固定ボルト（8ヶ所）をゆるめます。

10-3. 延長ケーブルを取り外す

タクトスイッチを操作して、高さを最低位にし、電源プラグをコンセントから外します。

ヘッドボードユニットとコントロールボックスの端子を外し、コードサドルから延長ケーブルを外します。（ショートサイズの場合は、フットボードのコード止めからも延長ケーブルを外します）

10-4. ギャッチフレームを取り外す

コントロールボックスから背上げモーター、脚上げモーターの端子を外します。

ギャッチフレームの抜け止めフックを外します。

フットボードユニット方向にギャッチフレームを引きます。ギャッチフレームを頭側 1 名、脚側 1 名で持ちあげ、サイドフレームから外します。

10-5. サイドフレームを取り外す

サイドフレームの上部の固定ボルト 4 ヶ所を外します。サイドフレームを取り外した後、下部の固定ボルト 4 ヶ所を外します。

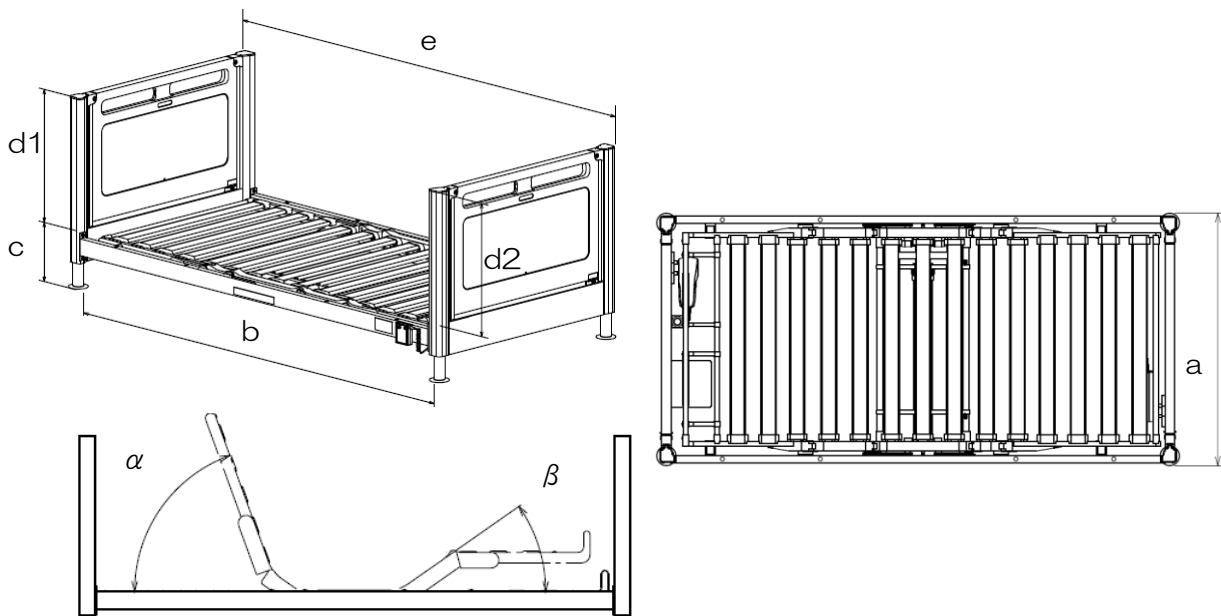
10-6. 手元スイッチ、タクトスイッチ、電源プラグを取り外す

コントロールボックスから手元スイッチ、タクトスイッチの端子を抜きます。手元スイッチ、タクトスイッチを取り外します。先に外した延長ケーブルと一緒にまとめておきます。

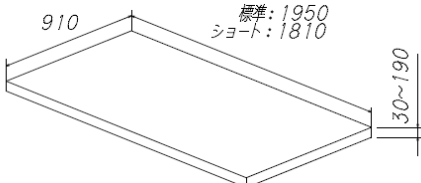
以上で分解作業は終わりです。取り外した部品はなくさないように大切に保管してください。

11. 仕様

電気定格	定格電圧	AC100 V
	定格周波数	50/60 Hz
	定格消費電力	180W
ベッド寸法	a：幅（最大外径寸法）	1030mm
	b：脚座間の長さ（脚部の取り付け位置の距離）	標準サイズ：2050mm ショートサイズ：1910mm
	c：ボトムの高さ（床からボトム上面まで）	110～240～610mm ストローク：500mm
	d1：ボトム上面からヘッドボード（フレーム）の上端まで	593mm
	d2：ボトム上面からフットボード（フレーム）の上端まで	593mm
	e：長さ（最大外径寸法）	標準サイズ：2140mm ショートサイズ 2000mm
	α ：背部の最大傾斜角度	75 度（ ± 3 度）
	β ：脚（ひざ）部の最大傾斜角度	35 度（ ± 3 度） 標準サイズのみ



本体の形状





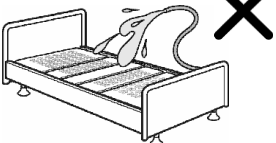

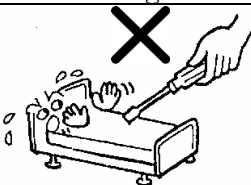

材質	鋼管、鋼板、アルミ エポキシ樹脂粉体塗装 樹脂成型品	
重量	標準サイズ：約 64kg ショートサイズ：62 kg	
電源コード長さ	モーター出口より 3.5m	
安全使用荷重	1700N	
対応 マットレス の厚さ、重量		最低厚さ：30mm 最大厚さ：190mm 重量：20kg 以下

※ マットレス重量が 20 k g を超える場合は、使用者の体重との合計が 155 k g 以下で
 してください。ただし、使用者の制限体重は 135 k g です。


12. お手入れ方法

ベッドをお手入れするときは、下記に注意して行ってください。

⚠ 警告

<p>お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>感電する恐れがあります。</p>		
<p>電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。</p> <p>電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。</p>		
<p>お手入れの際、直接、水をかけて洗わないでください。</p> <p>感電、異常動作の原因になります。</p>		
<p>ご自身で分解、修理、改造はしないでください。</p> <p>火災、感電、異常動作の原因になります。</p>		

⚠ 注意

⚠ 注意	
定期的に点検を行ってください。ネジ類がゆるんでいる場合は締めなおしてください。 また、破損状態での使用は避けてください。 事故の原因となります。	⚠
ベッドを保管するときは、背ボトムと脚ボトムを平らにし、ベッドを一番低い位置にしてください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。 下げた位置で保管しないと故障の原因となります。	⚠
汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだものおよび、研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。市販のクリーナーを使用するときは、一度目立たない所で試してから使用してください。 変色、変質、商品を傷める原因となります。	 ⊘
高温、多湿、ホコリの多い場所で保管しないでください。 故障の原因となります。	⊘
ベッドは横に倒したり、立てかけたりしないでください。 事故や故障の原因となります。	⊘

13. 点検

長期にわたり使用する電動ベッドとサイドレールなどの付属品の本来の性能を維持するには、適切なメンテナンスが必要になります。ベッドの状態を一番よく把握しなければならないのはご購入者様ご自身であり、日頃の点検などの適切な管理が必要となります。

多くの部品の集まりであるベッドは、使用するにつれてその時間の経過とともに部品の劣化や磨耗が進みます。点検を行うことにより、大きなトラブルを防止し安心して使用することが出来ます。

13-1. 外観点検項目

目視あるいは手で外観の傷や変形などを確認する点検です。

- ヘッドボードユニット、フットボードユニット、ギャッチフレーム、サイドレール、ベッド用グリップに異常がないか確認します。
- 固定ボルトが確実に取り付けられているか確認します。
- ラベルが貼り付けられているか、取扱説明書が保管されているか確認します。
- 電装部品（手元スイッチ、タクトスイッチ、モーター、電源コード、コントロールボックス、延長ケーブル）のコードやケースに損傷があるかを確認します。

13-2. 作動点検項目

本体をコンセントに接続し手元スイッチにより各種動作を行います。

- 電源ランプは仕様どおり点灯するか確認します。
- 機能どおり動作するか確認します。
- 動作時に異音の発生がないか確認します。

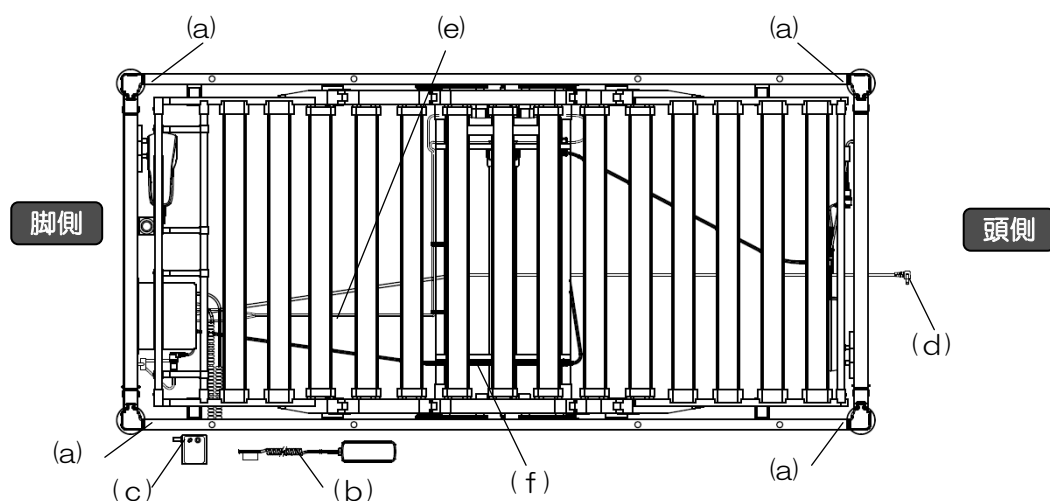


ベッドの使用中や点検時に不具合を発見された時には、まずはベッドのご使用を控えるか場合によっては使用を一時中断し、速やかに販売店又は弊社お客様相談室に故障状況を報告し、修理を依頼することが適切です。

ご自身による故障の修理などは絶対に行わないでください。

13-3. 点検および調整

長期にわたってより安全にご使用頂く為に、以下の項目の点検を行ってください。



(ネジの点検)

使用条件によってはネジ部がゆるみ、ベッドがぐらつくことがあります。以下のネジ部を点検してください。

- (a) サイドフレームを固定している固定ボルト（8ヶ所）

(コードの確認)

各種コードが痛んでいないか確認してください。

- (b) 手元スイッチのコード
- (c) タクトスイッチのコード
- (d) 電源コード
- (e) ギャッチフレームのコード
- (f) 延長ケーブル

(端子の差し込み確認)

端子がコントロールボックスにしっかり差し込まれているか確認してください。

- (b) 手元スイッチの端子
- (c) タクトスイッチの端子
- (d) 電源プラグ
- (e) ギャッチフレームの端子
- (f) 延長ケーブルの端子

14. 消耗部品

ベッドは保守部品と消耗部品で構成されています。保有期間は製造販売終了（中止）後 8 年です。このベッドの主な消耗部品は以下の部品です。使い方によっては、使用期間が短くなることがあります。

部品名称	想定される故障の原因
手元スイッチ タクトスイッチ (コードを含む)	<ul style="list-style-type: none">● サイドレールに巻き付けるなどしてコードに想定以上の荷重が加わったため、コードが断線する。● 床に落とした状態で引きずったため、コードが断線する。● コードを踏んだため、コードが断線する。● 指以外で操作したため、手元スイッチが破損する。
コントロールボックス 電源コード	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、電源コードが断線する。● 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、電源プラグが破損する。● ベッドを一番低い位置にした時、電源プラグを挟み込んでしまったため電源プラグが破損する。

15. 耐用期間

耐用期間とは消耗部品の交換や修理を繰り返し行うことで品質、安全性が維持できる期間です。指定された保守点検を実施し、指定された使用条件下で使われた場合の耐用期間は8年です。但し保守点検状況により差異が生じることがあります。

※ 耐用期間は保証期間ではありません。

16. こんなときには

ベッドが動かない場合、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

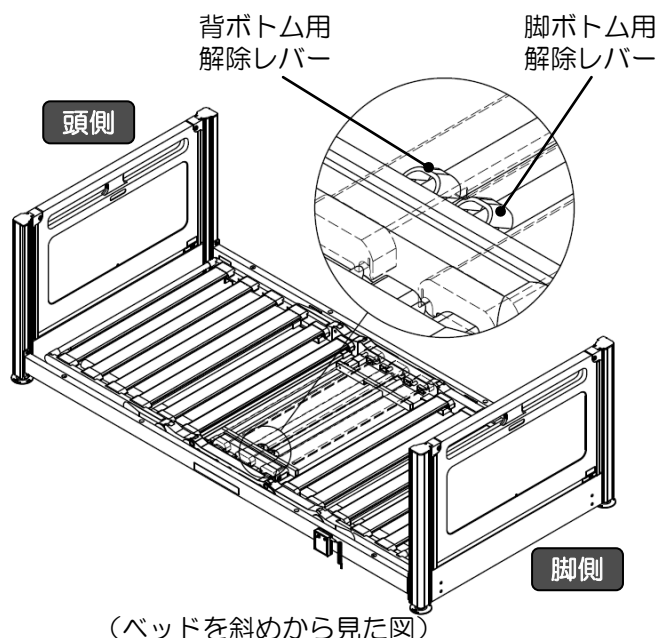
症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない（指定の動作をしない）。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	コントロールボックスに差し込まれている、各コードの端子が確実に差し込まれていますか？	各コードの端子を確実に差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコードや端子は破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードや端子がつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。修理の依頼をしてください。
	手元スイッチの裏側の安全スイッチのマークが「OFF」の位置になっていませんか？	切替レンチで、安全スイッチのマークを「ON」の位置にしてください。
	手元スイッチの「入/切ボタン（□）」は押されていますか？	手元スイッチの「入/切ボタン（□）」を押してください。
ベッドが昇降しない。	コントロールボックスに差し込まれている、各コードの端子が確実に差し込まれていますか？	各コードの端子を確実に差し込んでください。電源プラグをコンセントから抜き、差し込みなおしてください。
	ベッドの周囲に障害となるモノがありませんか？	障害となるモノを取り除いてください。
	ベッドが過負荷になっていませんか？	安全使用荷重を確認して使用して下さい。
	タクトスイッチのつまみがOFF側になっていませんか？	タクトスイッチのつまみをON側にしてください。
	頭側と脚側の高さが異なり、ピーピーと警告音が鳴っていませんか？	頭側の各コードの端子を確実に接続してください。電源プラグをコンセントから抜き、差し込みなおして、リセット（7-2 手元スイッチの操作方法を参照）を行ってください。

ボトムが水平にならない。	ボトムとサイドフレームの間に掛け布団や毛布などが挟まれていますか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれたモノを取り除いてください。
	ギャッチフレームの端子が確実にコントロールボックスに差し込まれていますか？	ギャッチフレームの端子を確実にコントロールボックスに差し込んでください。
ベッドがガタつく。	サイドフレームを固定している固定ボルトがゆるんでいませんか？	固定ボルトを増し締めしてください。
	ヘッドボード、フットボードは正しく取り付けられていますか？	ヘッドボード、フットボードを正しく取り付け直してください。
	ギャッチフレームの抜け止めフックが外れていませんか？	サイドフレームのピンに抜け止めフックを引っかけてください。
ベッドの動きが正常でない。	ベッドは確実に組み立てられていますか？	販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。電源プラグをコンセントから抜き、修理の依頼をしてください。
ベッド昇降時に異音がある。	ベッド昇降時は動作音がありますが、異音と思われるような大きな音がした場合、販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。	
ベッド昇降時にぐらつきながら昇降する。	ベッド昇降時に異常と思われるような大きなぐらつきが発生した場合、販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。	
ベッドから電子音が鳴り動かなくなった。	ベッドに異常が発生した際に発せられる音です。 販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。	

17. 停電により停止したときに

（解除レバーの位置）

下図の位置に解除レバー（背ボトム用、脚ボトム用）があります。停電や故障により、背ボトムや脚ボトムが上がった状態のまま停止した場合、解除レバーを操作することで、背ボトムや脚ボトムを水平に戻すことができます（上下昇降の機能には対応していません）。

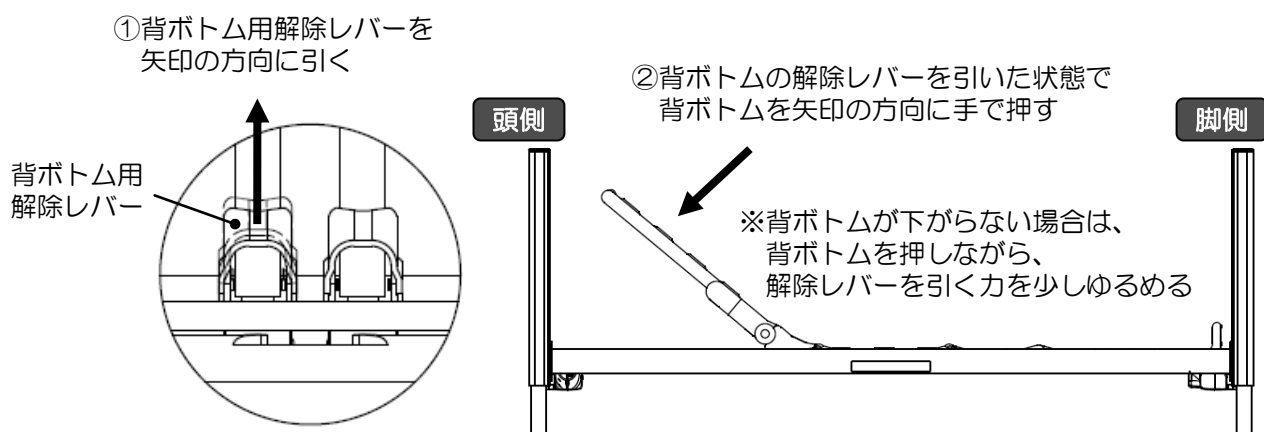


（ボトムを水平にする前の準備）

ご利用者様の安全の確保のため、ご利用者様が離床した状態で作業を行います。マットレスをベッドからはずします。

（背ボトムを水平にする場合）

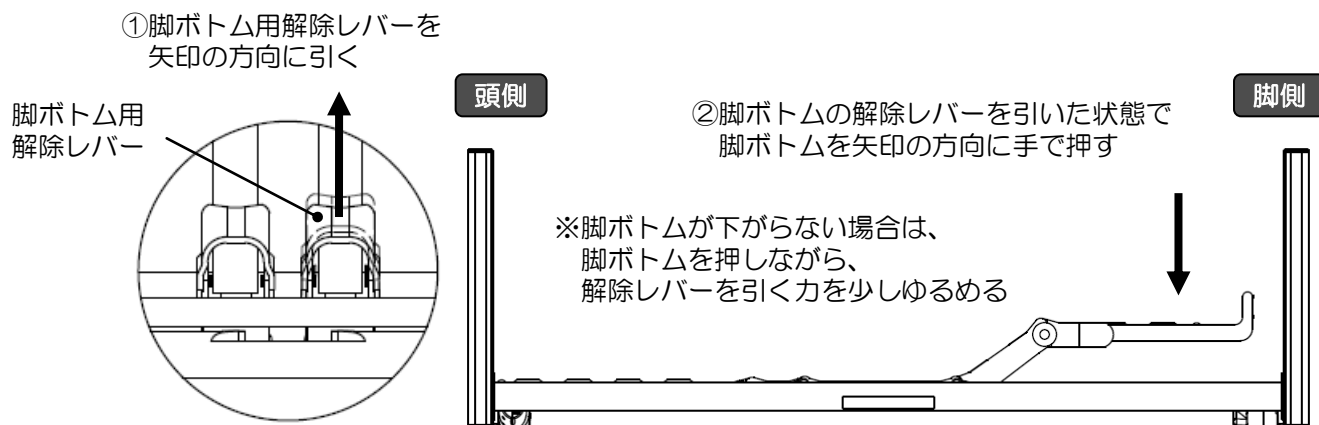
下図のように背ボトムの解除レバーを矢印の方向に引きます。背ボトムの解除レバーを引いた状態で背ボトムを矢印の方向に手で押します（解除レバーを強く引きすぎると背ボトムが下がらない場合があります。その場合は、背ボトムを押しながら解除レバーを引く力を少しゆるめてください）。



(脚ボトムを水平にする場合)

※3モータータイプのみの機構となります。

下図のように脚ボトムの解除レバーを矢印の方向に引きます。脚ボトムの解除レバーを引いた状態で脚ボトムを矢印の方向に手で押します(解除レバーを強く引きすぎると脚ボトムが下がらない場合があります。その場合は、脚ボトムを押しながら解除レバーを引く力を少しゆるめてください)。



18. アフターサービスについて

保証書および保証期間について

- 保証書

所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

- 保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理いたします。

- 保証期間を過ぎて修理を依頼する場合

修理すれば使用できる場合は、希望により有料で修理いたします。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

お客様相談室

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

お客様相談室



フリーダイヤル：0120-39-2824

受付時間：月～金曜日 9時～12時 13時～17時

（土、日、祝祭日、年末年始、弊社指定の休日などは除く）

製造元：フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148

19. 保証書

保証書

保証期間	お買い上げの日より	:	1年
お買い上げ日	年	月	日

お客様	ご芳名	様
	〒□□□-□□□□	
	ご住所	
	TEL	

販売店	店名・住所
-----	-------

法的責任

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合わせ下さい。

修理の記録

--

商品の名称

表紙に記載しています。

保証の対象

本体のみ行います。

保証の態様

- (1) 保証期間内において、この製品に製品上の欠陥が発見された場合には無償修理をいたします。
- (2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又は相談窓口にご連絡下さい。
- (3) 遠隔地等については、旅費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、保証書及び納品書又は領収書を提示して下さい。

※ 本保証書と納品書又は領収書を併せて保管をお願いします。

保証の適用除外

- (1) 保証書及び納品書又は領収書のご提示がなかった場合。
 - (2) 誤使用或いはお取扱い上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
 - (3) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造・改造された場合。
 - (4) ご購入後の移動・輸送によって故障又は損傷が生じた場合。
 - (5) 火災・天災・地変によって故障又は損傷が生じた場合。
 - (6) 本製品の製造上に起因した欠陥であるか、確認できない場合。
- ※ 上記項目については有償修理になります。

設置場所

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

免責

本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148

TEL 042 (543) 3111 (代表)

